平成３１年度

全国学力・学習状況調査

指導の改善策

－ 学習習慣・生活習慣編 －

旭川市教育委員会

目　　次

1　課題の改善策　・・・・・　2

1　学びを深める授業づくり①「育てたい資質・能力を明確にした指導計画の作成」
2　学びを深める授業づくり②「各教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせる場面の設定と手立ての工夫」
3　学びを深める授業づくり③「学習内容の確実な定着を図るまとめ，振り返りの指導」
4　落ち着いた学級づくり①「対話的な学びを支える人間関係づくり」
5　落ち着いた学級づくり②「学習に集中できる教室環境の整備」
6　望ましい学習習慣づくり①「見通しを持って計画的に学習に取り組ませる指導」
7　望ましい学習習慣づくり②「家庭との連携によるオンラインサービスを活用した家庭学習」

2　児童生徒質問紙調査について　・・・・・　１６

1　分析について
（1）質問項目の分類の考え方
（2）分析結果の整理
（3）クロス集計
（4）児童生徒質問項目

2　小学校・児童質問紙調査の分析結果　・・・・・　１９
（1）「学びを深める授業づくり」について
①ＩＣＴを活用した学習状況
②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
③学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）
④学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）
⑤地域や社会に関わる活動の状況等
（2）「落ち着いた学級づくり」について
①挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等
（3）「望ましい学習習慣づくり」について
①基本的生活習慣等
②学習習慣等

○分析結果
○改善策
○肯定的な回答が高い（低い）割合を示した質問項目
○肯定的な回答が全国の数値を上回った（下回った）質問項目
○肯定的な回答が増加（減少）傾向にある質問項目
○正答数が多い児童（Ｕ層）とそれ以外の児童（Ｅ層）とのクロス集計

3　中学校・生徒質問紙調査の分析結果　・・・・・　４１
（1）「学びを深める授業づくり」について
①ＩＣＴを活用した学習状況
②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
③学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）
④学習に対する興味・関心や授業の理解度等（数学）
⑤学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）
⑥地域や社会に関わる活動の状況等
（2）「落ち着いた学級づくり」について
①挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等
（3）「望ましい学習習慣づくり」について
①基本的生活習慣等
②学習習慣等

○分析結果
○改善策
○肯定的な回答が高い（低い）割合を示した質問項目
○肯定的な回答が全国の数値を上回った（下回った）質問項目
○肯定的な回答が増加（減少）傾向にある質問項目
○正答数が多い生徒（Ｕ層）とそれ以外の生徒（Ｅ層）とのクロス集計

1　課題の改善策 **課題の改善策１**　**学びを深める授業づくり①**

育てたい資質・能力を明確にした指導計画の作成

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：授業の理解度

○「国語（算数・数学，英語）の授業の内容はよく分かる」の質問項目においては，小中ともに，国語は全国の数値を上回りましたが，算数・数学，英語は全国の数値を下回りました。
○児童生徒が「分かる」授業を行うためには，育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。

「資質・能力って聞くけれど，よく分からないわ・・・。」
「指導計画はどう変えていけばよいのか・・・。」
「資質・能力を育成する授業ってどんな授業かしら？」

こんなこと，ありませんか？

新学習指導要領では，“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有し，連携・協働しながら，新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現が求められています。

「育てたい資質・能力」を明確にした指導のために

１「資質・能力」の３つの柱を把握する

○「育てたい資質・能力」は，新学習指導要領で示された「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の，「何ができるようになるか」の部分をより具体的に示したものと言えます。

新学習指導要領改訂の方向性

何ができるようになるか

「社会に開かれた教育課程」の実現
「カリキュラム・マネジメント」の充実

何を学ぶか　　どのように学ぶか

「学びに向かう力・人間性等」

学んだことを，人生や社会に生かそうとする力のことです。
- 主体的に学習に取り組む態度や意欲
- 自己の感情や行動を統制する力
- 自らの思考を客観的に捉える「メタ認知」の力
- 多様性を尊重する態度と協働する力
- 優しさや思いやりなどの人間性　など

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を総合的にとらえて構造化

資質・能力の３つの柱を，相互に関係し合いながら育成するイメージね。

「知識及び技能」

実際の社会や生活で生きて働きます。
- 各教科等に関する知識や技能
- 身体的技能や芸術表現のための技能等を含む

※基礎的・基本的な知識・技能を着実に獲得しながら，既存の知識・技能と関連付けることにより，定着を図ります。

「思考力・判断力・表現力等」

未知の状況にも対応できる力のことです。
- 問題を発見し，解決方法を探して結果を予測しながら計画的に実行していく力
- 情報を他者と共有しながら，対話や議論を通じて互いの考えの共通点や相違点を理解し，協働的に問題を解決していくための力

２「育てたい資質・能力」を明確にした指導計画の作成を目指す

Ｓｔｅｐ１　「資質・能力」を明確にした単元計画の作成

○「資質・能力」の３つの柱から整理されている，各教科等の目標や内容を読み取る。
○単元等のまとまりの中で，育てたい資質・能力を明らかにする。

本単元で育てたい資質・能力（例）

	育てたい資質・能力（例）
知識・技能	～の理解　～の技能　～する力
思考力・判断力・表現力	～を考察する力　～を比較する力 ～のように伝える力
学びに向かう力・人間性	主体的に～する力　協働して～する力 多様性を尊重する態度

「毎時間，３つの柱の資質・能力を育てることを考えて授業するの？」

指導計画（例）

学習過程（例）	時	学習活動（例）	指導上の留意点（例）
つかむ 見通す	1 ～ 2	ゴールを共有し学習の見通しを持つ。	学習過程を考え，学習の見通しを持つことができるようにする。 （主体的に～する力）
追究する	3 ～ 7	自分の考えを持つ。 互いの考えを交流する。 学んだことを理解する。	グループや全体で交流することを通して疑問を解決したり考えを深めたりする。 （～を比較する力　～を考察する力） （～の理解）
まとめる 広げる	8 ～ 10	学んだことをまとめる。 学びの過程を振り返る。 思いを発信する。	視点を明らかにして振り返ることができるようにする。 （多様性を尊重する態度） 自分の思いを発信できる場を工夫する。 （～のように伝える力）

育てたい「資質・能力」を，１単位時間に１つは位置付けましょう。

単元全体を通して，「資質・能力」を位置付けることが大切です。

Ｓｔｅｐ２　「資質・能力」を明確にした１単位時間の指導計画作成の流れ

○単元の指導計画に基づき，「何ができるようになるか」育てたい「資質・能力」を踏まえて学習活動を構想する。

ポイントを意識できていますか？チェックしてみましょう。

授業づくりの流れのポイント（例）

ゴールのイメージ	①育てたい資質・能力の明確化	□
	②適切に評価する手立ての明確化	□
主体的な学びに向かわせるために	③意欲や多様な考えを引き出す課題設定	□
	④見通しを持たせる手立て	□
対話し，思考を深めるために	⑤児童生徒が学ぶ具体的な姿のイメージ作り	□
	⑥解決に導く手立ての準備や場の設定	□
課題とまとめの整合性 次の学びに向かう意欲	⑦課題に正対したまとめ	□
	⑧視点を明確にした振り返りの場の設定	□

①「育てたい資質・能力」を強く意識して構想しましょう。授業づくりが変わってきますよ。

「何ができるようになるか」具体的な資質・能力を明確にすることで，学びを深める授業づくりができます。

コラム

「教科等横断的な視点に立った資質・能力」の重要性

新学習指導要領では，あらゆる教科等に共通した学習の基盤となる「資質・能力」（言語能力，情報活用能力，問題発見・問題解決能力等）や，教科等の学習を通じて身に付けた力を統合的に活用して現代的な諸課題に対応していくための「資質・能力」を，教育課程全体を見渡して育んでいくことを重要としています。したがって，教科等横断的な視点で各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成する必要があります。

課題の改善策２

学びを深める授業づくり②

各教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせる場面の設定と手立ての工夫

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に関する質問項目（小学校２９～３６，中学校３２～３９）においては，小学校で全ての質問項目において全国の数値を上回り，中学校で８問中５問が全国の数値を上回りました。

○この結果から，本市においては，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が進められていると言えます。更に授業改善を進めるに当たって，深い学びについては，各教科等の特質に応じた見方や考え方が鍵となります。

「見方・考え方って具体的にどういうことをいうの？」
「何をしたらいいのかしら？」
「見方・考え方を働かせる授業ってどんな授業かしら？」

こんなこと，ありませんか？

「見方・考え方」は，各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり，教科等の学習と社会をつなぐものです。したがって，児童生徒が学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるように，教師の専門性を発揮し，授業改善を図ることが求められています。

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」の把握

各教科における「見方・考え方」のイメージが明らかになったのよ。

１「見方・考え方」を理解する

○見方・考え方とは，「各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方」のことで，次のようなイメージが例示されています。

国語科「言葉による見方・考え方」

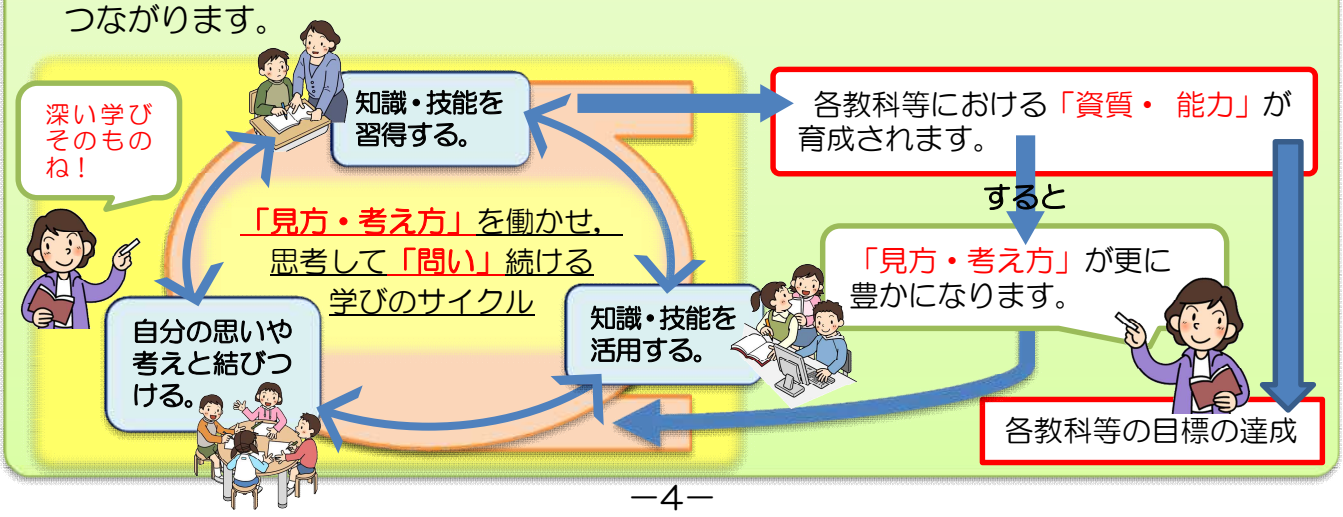
【小・中学校】
・対象と言葉，言葉と言葉の関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉えたり問い直したりする ⇒（見方/視点）
・言葉への自覚を高めること。 ⇒（考え方）

算数・数学科「数学的な見方・考え方」

【小・中学校】
・事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉える。⇒（見方/視点）
【小学校】・根拠を基に筋道を立てて考え，統合的・発展的に考えること。⇒（考え方）
【中学校】・論理的・統合的・発展的に考えること。 ⇒（考え方）

２「見方・考え方」を働かせることと，「資質・能力」の育成を図ることの相互関係を理解する

○各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせることが，より質の高い深い学びにつながります。



「見方・考え方」を働かせた授業改善

「見方・考え方」を働かせる場面の設定と手立てを工夫する

○児童生徒が「見方・考え方」を働かせるためには，教師自身が，各単元や本時の指導内容から児童生徒に働かせたい「見方・考え方」を捉え，それを促す発問や学習活動を構想する必要があります。

Ｓｔｅｐ１　児童生徒に働かせる「見方・考え方」を捉える

○単元や本時の指導内容を確認し，児童生徒に働かせたい「見方・考え方」を明らかにする。

【指導例】
小学校第５学年
算数科「割合」

指導内容　C(3)イ(ア)
日常の事象における数量の関係に着目し，図や式などを用いて，ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し，それを日常生活に生かすこと。

「数学的な見方・考え方って，どう捉えたらいいのかしら？」

「～に着目し」の部分は⇒「数学的な見方」
「～を考える」「～を見いだす」の部分を⇒「数学的な考え方」と，捉えるとよいですね。

Ｓｔｅｐ２　「見方・考え方」を働かせた学習場面の設定と手立ての工夫

○働かせたい「見方・考え方」を目標に示し，学習活動や発問を工夫する。

「見方・考え方」を働かせる児童生徒の姿を，目標に具体的に示すことができると，学習活動が見えてきますよ。

本時の目標
引かれる割合に着目して，解決の仕方を，筋道を立てて考え説明することができる。

手立て①　「見方・考え方」を働かせる発問 を意識しよう。

- 既習内容から導く。
「これまで学んだことは使えますか。」
- 学習の方法を見通す。
「どんな方法で求められるでしょう。」
- 考えを比較，検討させる。
「なぜ，そう考えたのですか。」
「似ている考えはありますか。」

手立て②　「見方・考え方」を働かせる学習活動 を意識しよう。

- 学習方法を見通す活動
⇒既習内容も想起させながら，児童に見通しを持たせる。

- 目的や論点を明らかにした対話的な活動
⇒根拠を持ち，筋道を立てて説明する。
自分の考えと比べながら聞く。

場面①　「見方・考え方」を働かせる導入 を意識しよう。

過程	学習活動	指導上の配慮事項
導入	○問題の提示 250円のサンドイッチを，20%引きの値段で買いました。代金はいくらでしょうか。 ○予想する ○課題を設定する もとにする量から割引を考えよう。	
展開	○個人思考 ・数直線などを用いる。 ・式で求める。 ○課題解決 ・グループでの交流 ・全体での交流	ことができるようにする。 ・「割り引く金額」など算数的用語を用いらせる。
まとめ	○まとめ ○練習問題 ○振り返り	・まとめたことを生かして問題を解かせる。

何に着目させ，何を考えさせるのかを明確にしましょう。

場面②　「見方・考え方」を働かせる交流場面 を意識しよう。

「見方・考え方」を捉え，学びの中で働かせることにより，授業改善を図ることができます。

課題の改善策３

学びを深める授業づくり③

学習内容の確実な定着を図るまとめ，振り返りの指導

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：授業の理解度等

○「国語（算数・数学，英語）の授業の内容はよく分かる」の質問項目においては，小中ともに，国語は全国の数値を上回りましたが，算数・数学，英語は全国の数値を下回りました。また，「国語（算数）の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用しようとしている」の質問項目においては，小学校（国語，算数）で全国の数値を上回りましたが，中学校（国語）は全国の数値を下回りました。（※中学校「数学」の設問はなし）

○児童生徒が「分かる」授業を行ったり，学んだことを活用しようとしたりするためには，効果的なまとめや振り返りを行うことが大切です。

「まとめと振り返りは何が違うの？」
「振り返りって毎時間するの？時間が足りなくて…」

こんなこと，
ありませんか？

まとめと振り返りの違いをおさえ，学んだことや意欲・問題意識等を次につなげられるように視点を設けて振り返りを行うことで，児童生徒に学びの成果を実感させたり，授業で学んだことを他の教科等に結びつけたりすることができます。

「まとめ」と「振り返り」

１　本時の課題に対する答え・結論が「まとめ」となる

○本時の課題とまとめは，整合性をもたせて板書します。どちらも同じように枠で囲うと，ノートを振り返る時にいっそう分かりやすくなります。

（例）＜課　題＞「電磁石のはたらきを大きくするにはどうすればよいだろうか。」
＜まとめ＞「電磁石のはたらきを大きくするには，電流を強くしたり導線の巻き数を多くしたりすればよい。」（※理科の場合「結論」とも言う）

２　身に付いた知識や技能を自覚させ，次につなげるため「振り返り」を行う

○教科の特質に応じて，練習等に取り組むことによって自分の学びを自覚させます。

○「分かったこと」「できるようになったこと」「よく分からなかったこと」「もっと調べたいこと」等，自分の言葉で記述させます。

○言葉を出し合い，「めあてとつながっているか」「足りない言葉はないか」等話合いをさせます。

○「分かったこと」と「もう一度調べたいこと」を分けて記述させ，次時の学習課題を設定させます。

【児童生徒へのメリット】
自己の変容や成長を自覚することができ，「分かった」「できた」「もっとやりたい」という意欲が高まります。

【教師へのメリット】
児童生徒一人ひとりの分かっていること，分からなかったことを分析すると，今後の授業を工夫するチャンスになります。

コラム

振り返りの位置付け

振り返りがどの時間にも必要なわけではありません。単元（題材）の最後や家庭学習で振り返りをさせることもできます。大切なのは，教科の特質や単元の展開などに応じて，適切に振り返りを指導計画に位置付けることです。

手応えを感じる「振り返り」の工夫

児童生徒が「分かった」「できた」と手応えを感じ，「もっとやりたい」という今後の学習への意欲につなげるために，振り返りを工夫する必要があります。

「振り返りでは，分かったかどうか挙手させたり，理解度を選んで○をつけさせたりしているけれど…。」
「授業の感想を書かせているから大丈夫かしら？」

そのような振り返りで手応えを感じますか？

Ｓｔｅｐ１　振り返りの時間の確保

単元（題材）のどこで振り返りをするか指導計画に位置付け，確実に時間を確保できるように工夫しましょう。

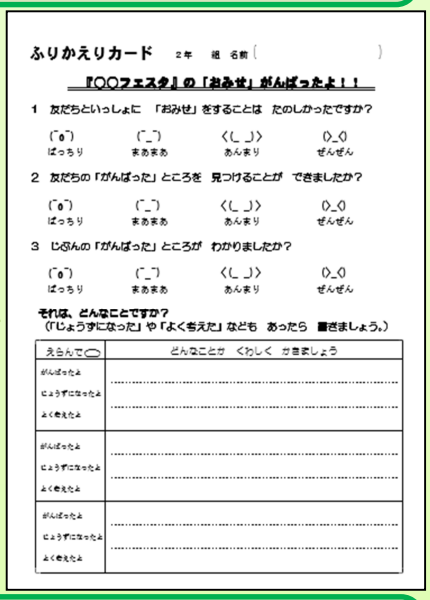
○導入部分を短くするために，課題・指導事項を焦点化し，ＩＣＴを活用して指示をスリム化し，振り返りの時間を確保しましょう。
○振り返りをしっかり行うことで学習内容の定着を図ることができるだけなく，新たな問題を発見したり，次時への見通しを持たせたりすることができます。

Ｓｔｅｐ２　振り返りの視点の明確化

自分ができるようになったことやまだできていないことを認識する「自己評価能力」を育て，次の学習へ意欲的に取り組むことにつながる振り返りをするために，具体的に振り返りの視点を伝える必要があります。

【手応えにつながる視点】
○充実感：「何が分かったか」「何をもっと調べたいか」
○達成感：「何ができるようになったか」
○自己有用感：「どんなふうに工夫したか」
　　「友達のどんなところが素晴らしかったか」
○一体感：「めあてとつながっているか」

まとまった文章で記述させる場合，「○○字以内で」「○○という言葉を使って」等条件を設定したり，「○○の学習から△△ということが分かった。次は□□についても学習したい。」と型を使わせたりすることも効果的です。



ふりかえりカード　２年　組　名前（　　）

『○○フェスタ』の「おみせ」がんばったよ！！

1　友だちといっしょに「おみせ」をすることは　たのしかったですか？

(^o^) ばっちり　(^_^) まあまあ　(<(_ _)>) あんまり　(0_0) ぜんぜん

2　友だちの「がんばった」ところを　見つけることが　できましたか？

(^o^) ばっちり　(^_^) まあまあ　(<(_ _)>) あんまり　(0_0) ぜんぜん

3　じぶんの「がんばった」ところが　わかりましたか？

(^o^) ばっちり　(^_^) まあまあ　(<(_ _)>) あんまり　(0_0) ぜんぜん

それは、どんなことですか？
（「じょうずになった」や「よくかんがえた」なども　あったら　書きましょう。）

えらんで○	どんなことが　くわしく　かきましょう
がんばったよ じょうずになったよ よくかんがえたよ	
がんばったよ じょうずになったよ よくかんがえたよ	
がんばったよ じょうずになったよ よくかんがえたよ	

Ｓｔｅｐ３　振り返りの交流

自分の言葉でアウトプットする時間をつくることで，自分自身の行動を客観的に見つめることができる「メタ認知能力」を高めることができます。仲間と伝え合うことが，思いや願いを持つきっかけになったり，これからの活動のヒントになったりします。

○仲間や教師に認められることでやる気や自信を持つようになり，仲間が認められる姿を見ることでどんな点を評価すべきか学び，自分も頑張ろうという気持ちにつながります。
○よい人間関係や他から認められたいという気持ちを大切に相互評価を用い，自己肯定感を高めることが期待できます。

手応えを感じる振り返りを工夫することで，学習意欲が高まり，学習内容の確実な定着が期待できます。また，他の学習にも生かすことができます。

課題の改善策４　落ち着いた学級づくり①

対話的な学びを支える人間関係づくり

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等

○「学校に行くのは楽しい」の質問項目においては，小中ともに，全国の数値を下回りました。また，児童生徒質問紙と学力のクロス分析では，「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した児童生徒の方が，教科の平均正答率が高い傾向が見られました。

○対話的な学びを支え，確かな学力を育成するためには，適切な児童生徒理解に基づいた人間関係づくりが大切です。

「みんなの前で自分の考えを話すことが苦手な子が多いなぁ…。」
「『対話的な学び』というけれど，自分の考えを伝えるだけの発表会になってしまうなぁ。」

こんなこと，ありませんか？

「もう少し詳しく教えて。」「どうしてそう考えたの？」など，学習の中で，このような会話が聞かれることがあります。学級の子どもたちの関係性や協働性が高まると，意欲的に質問し合えたり，活発に意見を交換したりするなどの姿が増えてきます。

このような姿を増やすためにも，児童生徒が安心して心を開ける人間関係づくりや支持的な学級風土の醸成など，「対話的な学び」の土台づくりが大切です。

子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した児童生徒理解

子ども理解支援ツール「ほっと」の活用

○よりよい人間関係づくりには，児童生徒理解が不可欠です。北海道教育委員会が北海道医療大学と共同して開発した子ども理解支援ツール「ほっと」は，多角的・多面的で客観的に児童生徒や集団の傾向をとらえ，理解する資料として有効です。

１３要素	略称	要　素　の　説　明
挨拶をする	礼儀	挨拶や「してもらったこと」への感謝ができるか。
意見を伝える	表明	意見や欲求を主張できるか。
仲間に加わる	参加	対人参加や，仲間と協調することができるか。
相手を思いやる	配慮	相手への配慮や親切，援助ができるか。
嫌なことを断る	拒否	断ることや，他者からの無理なはたらきかけに「やめて」と言うことができるか。
緊張を抑える	緊張	緊張や不安によって話せなくなることがあるか。
相手を称える	称賛	相手をほめたり喜ばせたりすることができるか。
ルールを守る	遵守	貴族や秩序を維持したり，不適切な行為を謝罪できるか。
注意を呼びかける	忠告	社会的な望ましさを促進する働きかけができるか。
自らを律する	自律	協調性や我慢などの自律的な行為ができるか。
リーダー役を担う	率先	集団をまとめることなど，リーダーシップ行動ができるか。
学ぶ姿勢をつくる	学業	学習に関連した望ましい行動ができるか。
悩みを相談する	相談	相談や自己開示ができるか。

先行研究により，コミュニケーションスキルは「１３要素」に分類されます。

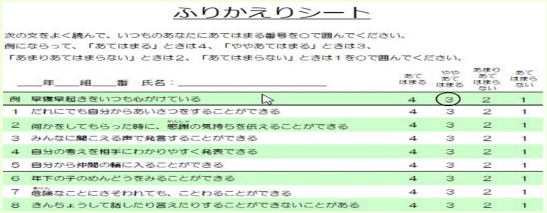
「ほっと」は，この１３要素を網羅的に測定することができます。

「ほっと」は，児童生徒の発達段階（小学校低学年，中学年，高学年，中学校，高等学校の５段階）に応じたコミュニケーションスキルを測定できるツールです。
※「振り返りシート」は，北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課のWebページからダウンロードできます。

子ども理解支援ツール「ほっと」の実施手順と結果の活用例

Ｓｔｅｐ１　実施の手順

①「振り返りシート」の配付・回答
②「振り返りシート」の結果入力（Excel シート）
③集計結果の表示（グラフ）
④集計結果の分析及び今後の生徒指導の改善・充実に向けた具体的な方策の検討


ふりかえりシート

次の文をよく読んで、いつものあなたにあてはまる番号を○で囲んでください。
例にならって、「あてはまる」ときは４、「ややあてはまる」ときは３、
「あまりあてはまらない」ときは２、「あてはまらない」ときは１を○で囲んでください。

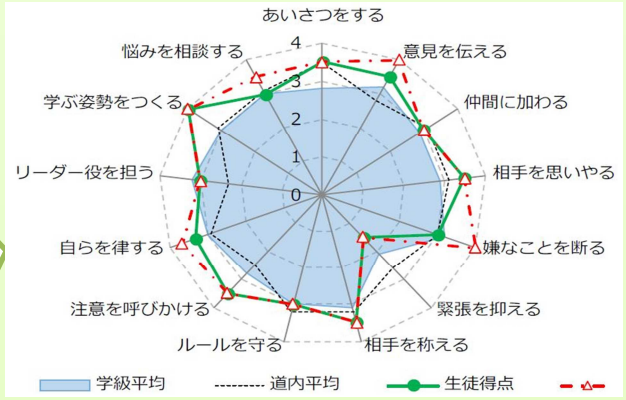
＿＿年＿＿組＿＿番　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
例	早寝早起きをいつも心がけている	4	③	2	1
1	だれにでも自分からあいさつをすることができる	4	3	2	1
2	何かをしてもらった時に、感謝の気持ちを伝えることができる	4	3	2	1
3	みんなに聞こえる声で発言することができる	4	3	2	1
4	自分の考えを相手にわかりやすく発表できる	4	3	2	1
5	自分から仲間の輪に入ることができる	4	3	2	1
6	年下の子のめんどうをみることができる	4	3	2	1
7	悪口などにさそわれても、ことわることができる	4	3	2	1
8	さんちょうして話したり答えたりすることができないことがある	4	3	2	1

Ｓｔｅｐ２　結果の活用例

○児童生徒が回答した「振り返りシート」の結果を入力すると，コミュニケーションスキル１３要素ごとの素点の平均値がレーダーチャートで表示されます。このレーダーチャートでは，学級平均（青），道内平均（黒），児童生徒得点（緑），また，学年平均や前年度の結果との比較（赤）が可能です。

１３要素の道内平均や学級平均が表示され，その高低により，児童生徒の得意・不得意が把握できます。



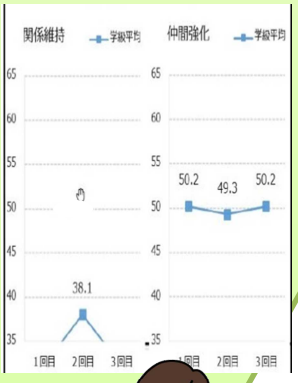
今年の４月に改良され，より機能の充実が図られています。個に注目した手立てや変容をとらえて教育活動の成果検証等にも活用できます。

○結果の活用例

① 結果から
・「学ぶ姿勢をつくる」スキルが，とても高い。
② 現状の把握と今後の取組
・学習意欲が高く，望ましい行動をとろうとする意識が高い。
・称賛を意識し，さらに，自信をもたせるようにしよう。

①結果から
・「緊張を抑える」スキルが低く，課題となっている。
②現状の把握と改善の方策
・失敗しそうなことを避け，他者の評価に敏感になっている。
・授業では，間違いが認められる雰囲気づくりに努めよう。

○年間に複数回実施することによる教育活動の成果の測定



年間３回実施した場合，項目別に３回分の集計結果が同一グラフ上に表示され，比較することを通して，児童生徒や学級のコミュニケーションスキルの変容を把握できます。
①変容の把握
・「助言や注意」「発言や説明」の項目に改善が見られた。
・「ルールやモラル」の項目が依然として低い。
②成果等の検証と改善の方策
・スクールカウンセラーによるアサーショントレーニングが効果的だった。
・課題改善に向け，学級で月ごとの目標を決めたり，達成できた目標に対して褒めたりする環境を整えよう。

課題の改善策５

落ち着いた学級づくり②

学習に集中できる教室環境の整備

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等

○「学校のきまりを守っている」の質問項目においては，肯定的な回答が小中ともに高い割合を示しましたが，小中ともに，全国の数値を下回りました。

○児童生徒がきまりを守って落ち着いて学習に取り組むためには，凡事徹底の指導とともに，教室環境を整えることが大切です。

「そろえる指導って聞くけれど，どこまでそろえるの？」
「担任のカラーを出しちゃいけないの？」

こんなこと，
ありませんか？

児童生徒が安心感を持ち，集中して学習に取り組むために，教室環境の整備はとても重要です。全校で教室設営を統一することで，教師の仕事の効率化につながり，子どもたちと向き合う時間や教材研究の時間が生まれます。

機能的で生活しやすい教室環境づくり

１　学習意欲を高める環境をつくる

○整理整頓，清掃等を確実に行い，古い掲示物や危険な場所がないかこまめに確認し，安全で落ち着いた環境の整備に努めます。

○単元に応じて関連する図書を整備したり，児童生徒の作品を展示したりして，興味・関心を持たせるような工夫を計画的に行います。

２　効率的に教室設営を行う

○担任・担当が変わっても同じように教室環境を整備することで，子どもたちはスムーズに新しい環境に慣れることができます。

○教室設営をそろえることで，誰がどの教室で授業を行っても変化に気付きやすく，問題が起こりにくくなります。

○掲示物のデザインや教室のレイアウトを考える時間が大幅に短縮され，年度始めの担任の仕事が軽減されます。

若い先生方も迷わずに環境づくりに取り組めそうですね。

コラム

全校で統一した教室設営を行うなら

統一することの意義を職員間で共通理解しながら進めることが大切です。統一する部分と担任の裁量に任される部分を明確にし，取組にばらつきが出ないようにしましょう。

３　全校で教室設営を統一する

Ｓｔｅｐ１　「場所」をそろえる

〇黒板や教室前面は掲示物を厳選し，視覚的な刺激を減らします。
〇棚の中や机上をすっきり整頓し，掲示物は今必要なものだけを貼ります。
〇「ロッカーの使い方」「発表の仕方」など，一目で分かるように掲示します。

〇学級内でよく使うものは決められた場所に置き，使い終わったら元の場所に戻すルールの定着は，次に使う人への思いやりの気持ちを育むことにもつながります。

子どもたちが学習用具等を使った後に，元どおりに戻しやすいように，整頓された状態の写真を掲示しておくこともよいでしょう。

〇教室の前方の壁面は，必要なもののみ掲示するよう，どこに，どんなものを掲示するか全校統一のルール設定することが大切です。

【教室前面の掲示物設営（例）】
- 黒板の上の壁面には掲示物を貼らない。
- 黒板の右側に貼るもの（共　　通）：学級目標，月目標，日課表，学年通信
- 黒板の右側に貼るもの（担任裁量）：学級通信，当番表など

Ｓｔｅｐ２　「物」をそろえる

〇掲示物を全校共通の形にそろえます。
〇学級目標は掲示するスペースを統一できるように，大きさをそろえます。
〇ＩＣＴが日常的に活用できるように，各教室に整備します。

【ＩＣＴ活用の効果】
〇実物投影機を用いて教科書やワークシートを大きく提示したり，手元の小さな物を大きく見せたりしながら説明することで，指示が明確になります。
〇優れたコンテンツやフラッシュ教材の利用で授業に変化をつけることができ，興味・関心を喚起することができます。
〇実技を録画してすぐに見せたり，シミュレーションソフトを活用しイメージを持たせたりすることで，理解を深めることができます。

Ｓｔｅｐ３　定期的に点検し，取組を見直す

〇年度当初の単発的な取組にならないよう，定期的な点検を位置付けます。
〇教師の点検はもちろん，係活動や当番活動など学級の組織を生かし，児童生徒自らが点検して環境の保全・管理を行うようにします。
〇教室の安全点検や机・椅子の規格の調整等，児童生徒に任せられない部分にも配慮が必要です。

〇機能的で生活しやすい教室環境を目指し，必要に応じて児童生徒とともに取組を見直し，改善していきましょう。

教室設営を統一し，安心感のある環境を整えることで，児童生徒が集中し，落ち着いて学習に取り組むことができます。

課題の改善策６

望ましい学習習慣づくり①

見通しを持って計画的に学習に取り組ませる指導

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：学習習慣等

○「家で自分で計画を立てて勉強をする」の質問項目においては，小学校で全国の数値を上回りましたが，中学校で全国の数値を下回りました。また，「学校の授業時間以外に，普段１日当たりどれくらいの時間，勉強をするか」の質問項目においては，小中ともに，１日１時間以上の割合が，全国の数値を下回りました。

○確かな学力を育成するためには，家庭においても，見通しを持って計画的に学習に取り組ませることが大切です。

「いくら言い続けても，なかなか家庭学習が定着しないなぁ。」「毎日家庭学習ノートは出させているけれど，点検が大変！もっと効果的な方法はないのかなぁ。」

こんなこと，ありませんか？

計画・点検表を通して，家庭での「生活と学習」を一体的に見直させることにより，子どもがゲームやスマホに興じる時間と勉強時間との関連を意識して計画を立てさせたり，反省を今後に生かさせたりすることができます。また，帰りの会の時間を利用して計画を立てさせることで，授業と家庭学習とのつながりを意識させることができます。

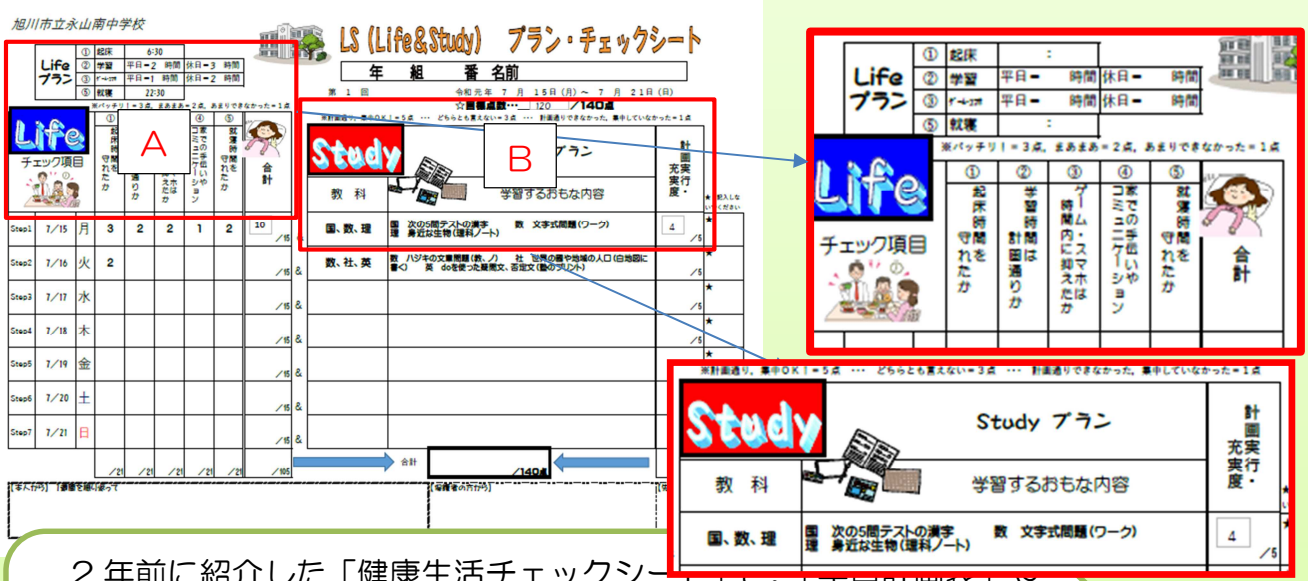
「ＬＳプラン＆チェックシート」を用いた，生活・学習の一体的な指導

１　長所は……

Ａ）家での生活と勉強を合わせて計画する⇒振り返る（勉強と生活をセットで見直す！）

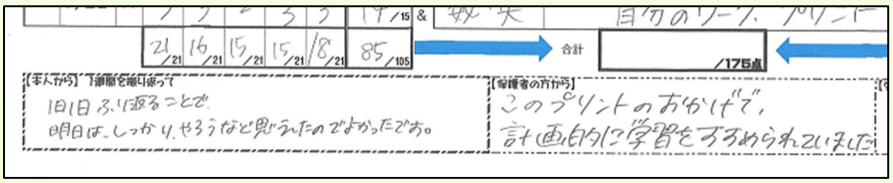
Ｂ）授業を振り返り，学校で家庭学習の計画を立てる（家に帰ってからのやることを事前に決める！）

Ｃ）自分で目標や計画を立てて実行し，振り返る（自分で決めたことだから主体的に！）



２年前に紹介した「健康生活チェックシート」と，「学習計画表」を「学習記録表」を１つに合わせることで，家庭学習を家に帰ってからの生活の一部として捉え，子どもが自ら計画立てる習慣付けにつなげるよう工夫しています。生活のチェック項目は，自分で管理できる項目５つだけに絞ってあります。

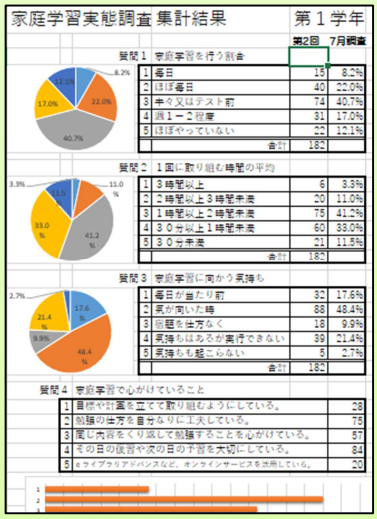
２　変容は・・・・・・　　※市内中学校での実践から



【生徒の振り返りから】　※一部抜粋
- この１週間は計画通りに勉強ができたので，今後も続けていきたい。
- ゲーム，スマホの時間を減らして勉強時間を確保したいと思った。
- あまり計画することはないから，少しだけど意識しながらできました。
- １日１日振り返ることで，明日はしっかりやろうなどと思えたので良かったです。

【保護者の方から】　※一部抜粋
- 計画実行，充実度の結果が高得点で驚きました。夏休みも頑張ってもらいたいです。
- １週間，いつもよりは計画的に勉強していました。
- 自分で目標を立て，良かった点，悪かった点に気付くことが次の目標につながると思うので，頑張ってください。

３　成果は・・・・・・　　※同校「家庭学習実態調査」の結果から：全校(約 550 名)対象


家庭学習実態調査 集計結果　第１学年　第2回　7月調査

質問１　家庭学習を行う割合

1	毎日	15	8.2%
2	ほぼ毎日	40	22.0%
3	中々又はテスト前	74	40.7%
4	週１～２程度	31	17.0%
5	ほぼやっていない	22	12.1%
	合計	182	

質問２　１回に取り組む時間の平均

1	３時間以上	6	3.3%
2	２時間以上３時間未満	20	11.0%
3	１時間以上２時間未満	75	41.2%
4	３０分以上１時間未満	60	33.0%
5	３０分未満	21	11.5%
	合計	182	

質問３　家庭学習に向かう気持ち

1	毎日が当たり前	32	17.6%
2	気が向いた時	88	48.4%
3	面倒を仕方なく	18	9.9%
4	気持ちはあるが実行できない	39	21.4%
5	気持ちも起こらない	5	2.7%
	合計	182	

質問４　家庭学習で心がけていること

1	目標や計画を立てて取り組むようにしている。	28
2	勉強の仕方を自分なりに工夫している。	75
3	聞く内容をくり返して勉強することを心がけている。	57
4	その日の復習や次の日の予習を大切にしている。	84
5	eライブラリアドバンスなど、オンラインサービスを活用している。	20

①質問１「家庭学習を行う割合」について
- 「毎日」「ほぼ毎日」を合わせた数は，全体で約３%増加。
- 「週１～２日」「ほぼやっていない」を合わせた数は，全校で３割５分から３割に減った。

②質問３「家庭学習に向かう気持ち」について
- 回答４「やらなければという気持ちはあるが実行に移せない」と回答５「やる気持ちも起こらない」を合わせた数が，全体で２８%（約 150 名）減となり，気持ちの変化に今回の取組が最も大きく表れた。

４　取組を振り返って

〇帰りの会での学習計画は１，２分で済むため，大きな影響はなかった。

〇子どもたちが授業後，帰りの会の中で，家庭学習の計画を立てる習慣が付けば，教師は配って１週間後に集めるだけです。子どもとのコミュニケーションなど，従来の家庭学習チェックの時間を他のことに使えます。

コラム

上記の中学校で行っている「家庭学習実態調査」とは？

- 「全国学力・学習状況調査結果」の生徒質問紙にある「家庭学習の時間」に加え，家庭学習に向かう気持ちや心がけなどを全学年対象に調査し，取組の成果や変容を計る目的で行うものです。
- 調査は５分程度で実施することができ，集計フォームへの入力すると入力結果はグラフとパーセントで表示されます。（上の「集計結果」表）

「ＬＳプラン＆チェックシート」は，旭川市ＨＰ→平成 31 年度全国学力・学習状況調査結果報告書→資料編　からダウンロードできます。

課題の改善策７

望ましい学習習慣づくり②

家庭との連携によるオンラインサービスを活用した家庭学習

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：ＩＣＴを活用した学習状況

○「授業で，コンピュータなどのＩＣＴをどの程度使用したか」や「授業でもっとコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思う」の質問項目においては，小学校で全国の数値を上回りましたが，中学校で全国の数値を下回りました。

○確かな学力を育成するためには，学校や家庭においてＩＣＴを効果的に活用し，学習意欲の向上を図るとともに，望ましい学習習慣づくりが大切です。

「子ども一人ひとりにＩＤを配ったけれど，今ひとつ利用頻度が上がらない。」「便利だよとは聞いたけれど，どのように使わせれば良いか分からない。」

こんなこと，ありませんか？

「ｅライブラリアドバンス」は，パソコンやタブレットなど，子どもにとって関心の高いメディアを使い，手軽に学習をすることができます。豊富な問題の中から，自分のペースに合わせ，当該学年だけではなく，下学年の問題に戻って学習することも可能です。また，使用させた結果，学習意欲の向上や学習習慣づくり，学力向上に有効であることが明確です。家庭などで，主体的に活用できるようにするため，良さを伝えることと，学校の授業や放課後などを活用しながら，実際に操作させ，使い方に慣れさせることが大切です。

「ｅライブラリアドバンス」のメリット

学習意欲の向上

※ｅライブラリアドバンスを活用した生徒へのアンケート結果から

- 楽しく勉強できる（多数）　・勉強が面倒くさいと思わなくなった
- 自分から進んでやるようになってきている（複数）
- 気軽にできるから，勉強がスムーズに進む　・自分のスピードでやれる
- 準備が少なくて，ワークなどよりやりやすいからやる気になれる
- 授業も楽しく感じるようになった　・間違ったら解説が出てわかりやすい
- ｅライブラリアドバンスだけでなく，家庭学習ノートを出すようになった，ワーク類も自分で復習しようと思う回数が増えた

① ノート・ワークのなどの準備が不要　② クイズ形式で取り組みやすく，スピーディー
③ ｅライブラリアドバンスから他のやり方，授業へと広がっていく可能性がある

学力の向上

- やる気が出ないときも気軽にできるので，これを使ってから学力が上がった
- やったことが思い出しやすい　・問題集のない５教科以外の問題もある
- スマホを使うことが好きなため，取り組みやすいし，覚えやすい
- このサービスを使ってみて，学習への集中力が上がった

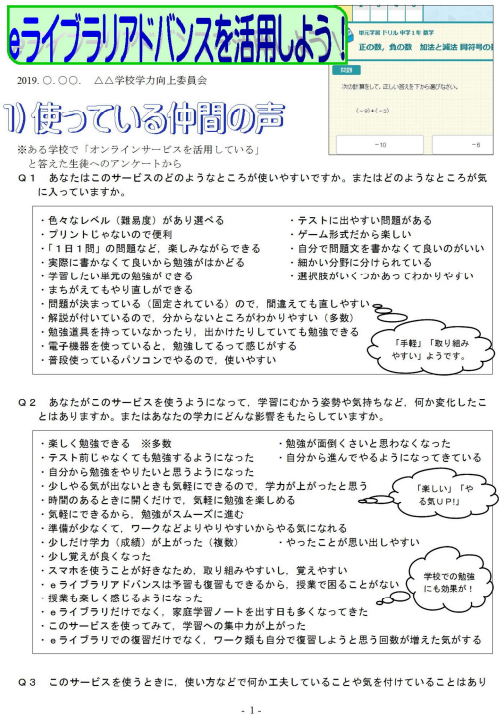
●ｅライブラリアドバンスのドリルを活用し，短時間で前学年の復習を行うことで，苦手分野を減らし，学習意欲が高まった児童がいました。

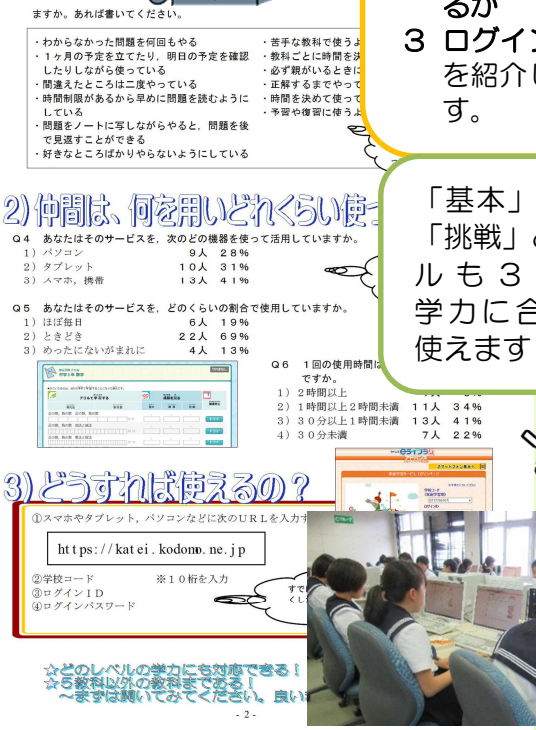
●中学校３年生の夏休みに「プリント教材」を５教科で約３００枚を印刷して取り組んだ生徒が，６０点満点の学力テストや入試でどの教科も４０～４５点取れました。

「ｅライブラリアドバンス」：学校での指導

メリットと使用法をきちんと教える

生徒のアンケートを紹介するプリントを作成…
1　仲間の声
2　何を用い，どのくらい使っているか
3　ログインの仕方
を紹介しています。





「基本」「標準」「挑戦」と，レベルも３段階！学力に合わせて使えます！

メリットと使用法をきちんと教える

○授業時間に（ＰＣ，タブレット，プリント教材）･･･**学習内容の定着，補充，個別支援**
○朝学習，放課後学習として（ＰＣ，タブレット，プリント教材）･･･**個別支援**

「ｅライブラリアドバンス」：家庭での利用　※市内中学校での調査より

学校でメリットと使用法を指導し，実際に使わせれば，利用はどんどん伸びていきます！

		【４月】	【５月】	【６月】	【７月】
合計	学習回数	84回	10回	375回	531回
	学習時間	172分27秒	16分41秒	688分21秒	950分54秒
	学習得点	97.02点	100.00点	96.68点	92.07点

【６月】
・１年生ＩＤ配付
※学力向上委検討

【７月】
・ガイダンス
・授業で活用

○授業活用時
・「ノートを使った勉強より楽しい」　７５％
・「学習の理解が深まった」　６１％

コラム

「デメリット」も理解して効果的な活用を！

△学習内容の記録（ノート）が残らない。　⇒ノートとの併用，学習過程の工夫
△ＰＣ室が１室しかない。　⇒全教職員で共通理解を図り，計画的な活用
△家庭環境に左右される（PC，スマホなど）。　⇒プリントで対応，学校で使用させる

「ｅライブラリアドバンスを活用しよう」プリントは，旭川市ＨＰ→平成 31 年度全国学力・学習状況調査結果報告書→資料編からダウンロードできます。

2　児童生徒質問紙調査について

1　分析について

（1）質問項目の分類の考え方

児童生徒に対する質問紙調査の全質問項目（小学校５８，中学校６９）について，国立教育政策研究所の報告書では，質問項目を１１個に分類していますが，この国立教育政策研究所の分類と本市の確かな学力育成プランの３つのカテゴリー（「学びを深める授業づくり」「落ち着いた学級づくり」「望ましい学習習慣づくり」）との関連付けを図り，下の表のとおりに整理しました。

カテゴリー	国立教育政策研究所の分類		質問番号
1　学びを深める授業づくり	ＩＣＴを活用した学習状況	小	２７～２８（２問）
		中	３０～３１（２問）
	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	小	２９～３６（８問）
		中	３２～３９（８問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）	小	３７～４５（９問）
		中	４０～４８（９問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）	小	４６～５６（１１問）
		中	４９～５３（５問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）	小	
		中	５４～６６（１３問）
	地域や社会に関わる活動の状況等	小	２３～２６（４問）
		中	２３～２６（４問）
	各教科の調査時間の適切性	小	５７～５８（２問）
		中	６７～６９（３問）
2　落ち着いた学級づくり	挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等	小	５～１６（１２問）
		中	５～１６（１２問）
3　望ましい学習習慣づくり	基本的生活習慣等	小	１～４（４問）
		中	１～４（４問）
	学習習慣等	小	１７～２２（６問）
		中	１７～２２（６問）
	部活動に関する状況	小	
		中	２７～２９（３問）

（2）分析結果の整理

質問項目に「している」「どちらかといえばしている」など，肯定的な回答をした児童生徒の割合が８０％以上のものを「肯定的な回答が高い割合を示した質問事項」とし，肯定的な回答が６０％未満のものを「肯定的な回答が低い割合を示した質問事項」として整理しました。

（3）クロス集計

教科に関する調査結果における正答率の高い児童生徒（U層）とそれ以外の児童生徒（E層）の質問紙調査の回答状況を比較し，各教科の正答率と学習状況・生活習慣との相関関係を分析しました。

（４）児童生徒質問項目

旭川プラン	国研分類	改善策	小	中	設問　※［　］は中学校
習慣	基本的生活習慣		1	1	朝食を毎日食べていますか
			2	2	毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか
			3	3	毎日，同じくらいの時刻に起きていますか
			4	4	家の人（兄弟姉妹は含みません。）と学校での出来事について話をしますか
学級づくり	挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等		5	5	自分には，よいところがあると思いますか
			6	6	先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
			7	7	先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれていると思いますか
			8	8	将来の夢や目標を持っていますか
			9	9	ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか
			10	10	難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか
			11	11	学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み，うれしかったことがありますか
		④	12	12	学校に行くのは楽しいと思いますか
		⑤	13	13	学校のきまり［規則］を守っていますか
			14	14	人が困っているときは，進んで助けていますか
			15	15	いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか
			16	16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
習慣	学習習慣等	⑥	17	17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
		⑥	18	18	学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）
			19	19	学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）
			20	20	昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除きます。）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか
			21	21	読書は好きですか
			22	22	新聞を読んでいますか
授業	⑥地域・社会		23	23	今住んでいる地域の行事に参加していますか
			24	24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
			25	25	外国の人と友達になったり，外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか
			26	26	日本やあなたが住んでいる地域のことについて，外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか
	部活			27	学校の部活動に参加していますか
				28	普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，部活動をしますか
				29	学校の部活動に参加する主な理由は，以下のうちどれですか
	ＩＣＴ	⑦	27	30	５年生まで［1，２年生のとき］に受けた授業で，コンピュータなどのＩＣＴをどの程度使用しましたか
		⑦	28	31	授業でもっとコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思いますか
	主体的・対話的で深い学び	②	29	32	学級の友達と［生徒］の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか
		②	30	33	授業で学んだことを，ほかの学習に生かしていますか
		②	31	34	総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか
		②	32	35	あなたの学級では，学級生活をよりよくするために学級会［学級活動］で話し合い，互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか
		②	33	36	学級活動における学級での話合いを生かして，今，自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか
		②	34	39	【小学校】道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか 【中学校】１，２年生のときに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか

		②	35	37	5年生まで［1，2年生のとき］に受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか
		②	36	38	5年生まで［1，2年生のとき］に受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか
	国語		37	40	国語の勉強は好きですか
			38	41	国語の勉強は大切だと思いますか
		①③	39	42	国語の授業の内容はよく分かりますか
			40	43	国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか
		③	41	44	国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか
			42	45	国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり書いたりしていますか
			43	46	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき，うまく伝わるように理由［根拠］を示したりするなど，話や文章の組立てを工夫していますか
			44	47	国語の授業で文章や資料を読むとき，目的に応じて，必要な語や文を見つけたり，文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか
			45	48	今回の国語の問題について，解答を文章で書く問題がありましたが，どのように解答しましたか
	算数・数学		46	49	算数［数学］の勉強は好きですか
			47	50	算数［数学］の勉強は大切だと思いますか
		①③	48	51	算数［数学］の授業の内容はよく分かりますか
			49	52	算数［数学］の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか
			50		算数の授業で学習したことを，普段の生活で活用できないか考えますか
			51		算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか
			52		算数の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか
			53		算数の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか
			54		算数の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけを理解するようにしていますか
			55		算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか
			56	53	【小学校】今回の算数の問題について，言葉や数，式を使って，わけや求め方などを書く問題がありましたが，どのように解答しましたか 【中学校】今回の数学の問題について，解答を言葉や数，式を使って，説明する問題がありましたが，どのように解答しましたか
	英語			54	英語の勉強は好きですか
				55	英語の勉強は大切だと思いますか
		①③		56	英語の授業の内容はよく分かりますか
				57	英語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか
				58	あなたはこれまで，学校の授業やそのための学習以外で，日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す，英語で手紙や電子メールを書く，英語のテレビやホームページを見る，英会話教室に通うなど）が十分にありましたか
				59	あなたは将来，積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
				60	1，2年生のときに受けた授業では，英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか
				61	1，2年生のときに受けた授業では，英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか
				62	1，2年生のときに受けた授業では，原稿などの準備をすることなく，（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか
				63	1，2年生のときに受けた授業では，スピーチやプレゼンテーションなど，まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか
				64	1，2年生のときに受けた授業では，自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか
				65	1，2年生のときに受けた授業では，聞いたり読んだりしたことについて，生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか
				66	1，2年生のときに受けた授業では，聞いたり読んだりしたことについて，その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか
	時間		57	67	解答時間は十分でしたか（国語）
			58	68	解答時間は十分でしたか（算数）［数学］
				69	解答時間は十分でしたか（英語）

２　小学校・児童質問紙調査の分析結果

（１）「学びを深める授業づくり」について

①ＩＣＴを活用した学習状況

【質問番号】２７～２８（2問）

分析結果

○２質問項目中，１項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。
○２質問項目中，全ての項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。
○「授業でもっとコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思う」児童は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。
○本市では，ＩＣＴを活用した学習状況についての質問に，肯定的に回答した児童の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改 善 策

○確かな学力を育成するためには，実物投影機や大型提示装置（プロジェクター，電子黒板など）などのＩＣＴを効果的に活用することが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

２８　授業でもっとコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思いますか（87.1%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２７　５年生までに受けた授業で，コンピュータなどのＩＣＴをどの程度使用しましたか（10.1）
※この質問項目については，月１回以上の割合を全国の数値と比較しました。
２８　授業でもっとコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思いますか（0.6）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

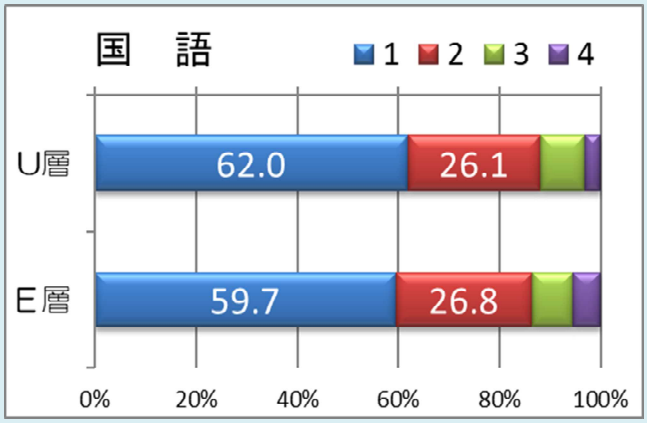
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

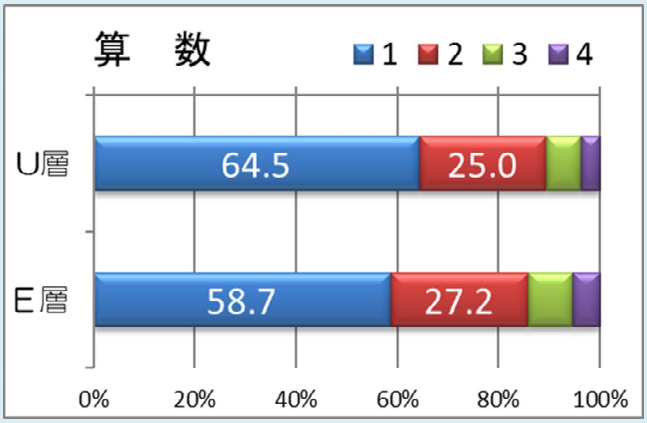
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

２８　授業でもっとコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思いますか

１　当てはまる　　２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない　　４　当てはまらない





②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

分析結果

【質問番号】２９～３６（８問）

○８質問項目中，「３４　道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか」などの２項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
○８質問項目中，全ての項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。
○３年間の経年比較では，肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。
○「授業で学んだことを，ほかの学習に生かしている」，「総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」，「課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいる」「自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表している」などの児童は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。
○各小学校において，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が校内研修等を通じて，着実に進められている状況であると分析しました。

改 善 策

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するためには，児童の学習状況等に着目し，学習指導の改善・充実を図る観点から，学校全体で組織的・継続的な取組を進めることが大切です。
○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するためには，各教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせる場面を設定したり，手立てを工夫したりすることが大切です。

本改善策については，Ｐ４
「各教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせる場面の設定と手立ての工夫」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

３０　授業で学んだことを，ほかの学習に生かしていますか（83.6%）
３４　道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか（84.7%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２９　学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか（2.4）

３０　授業で学んだことを，ほかの学習に生かしていますか（0.8）
３１　総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか（11.5）
３２　あなたの学級では，学級生活をよりよくするために学級会で話し合い，互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか（3.1）
３３　学級活動における学級での話合いを生かして，今，自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか（2.6）
３４　道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか（2.4）
３５　５年生までに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか（1.7）
３６　５年生までに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか（0.3）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

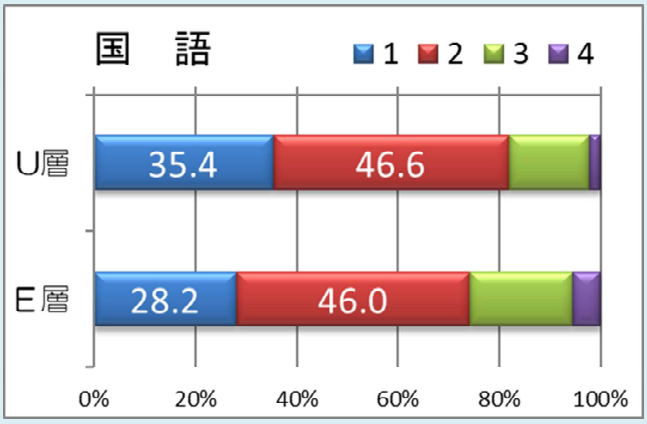
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

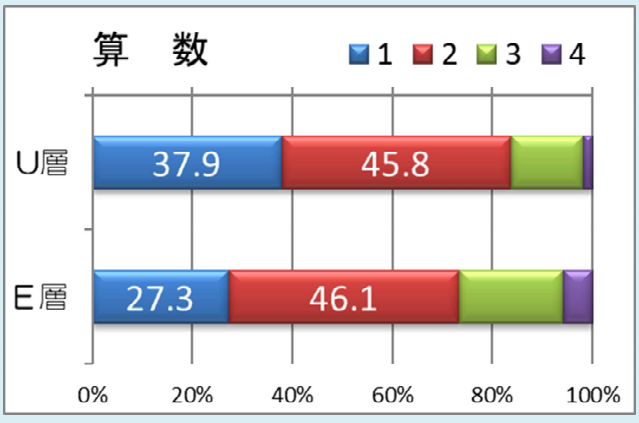
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（Ｕ層）とそれ以外の児童（Ｅ層）とのクロス集計

２９　学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか

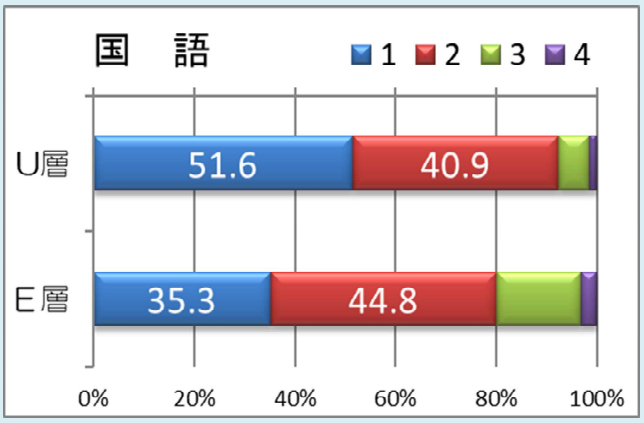
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない

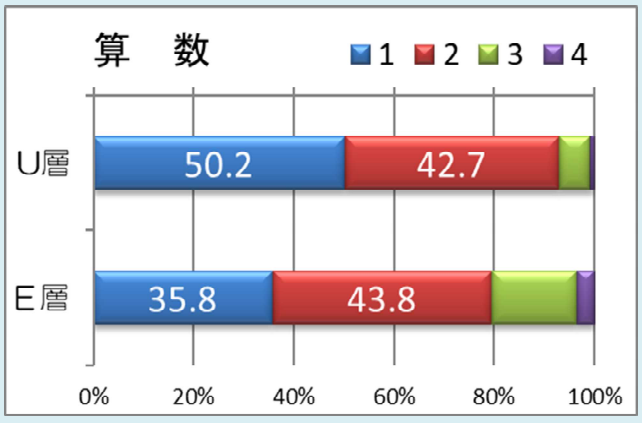




３０　授業で学んだことを，ほかの学習に生かしていますか

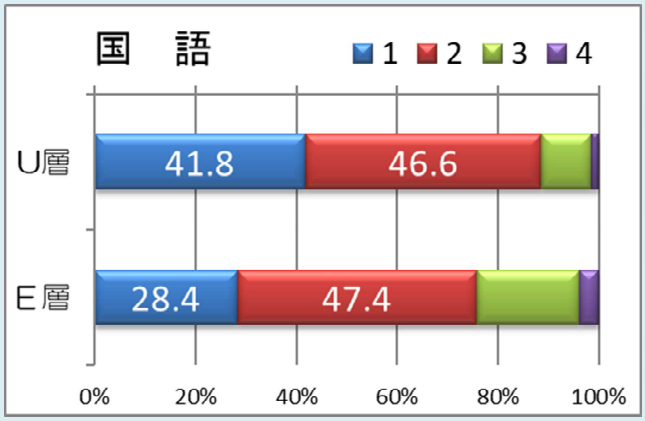
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない

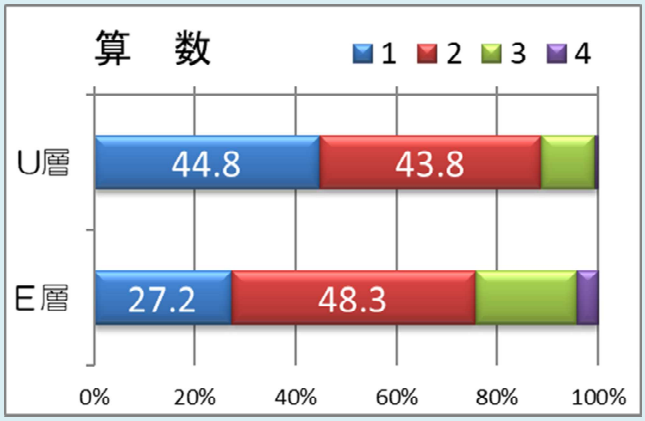




３５　５年生までに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか

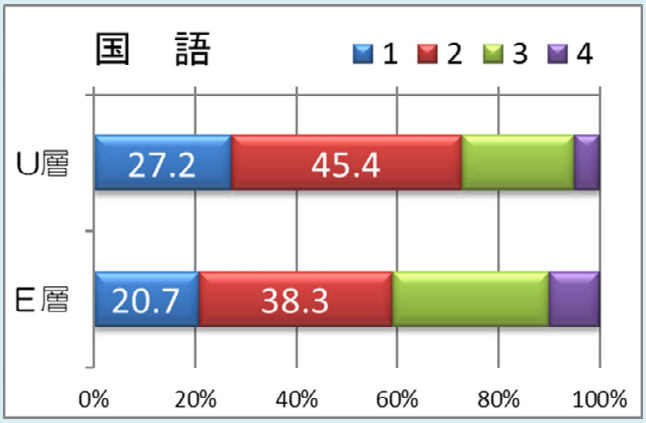
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない

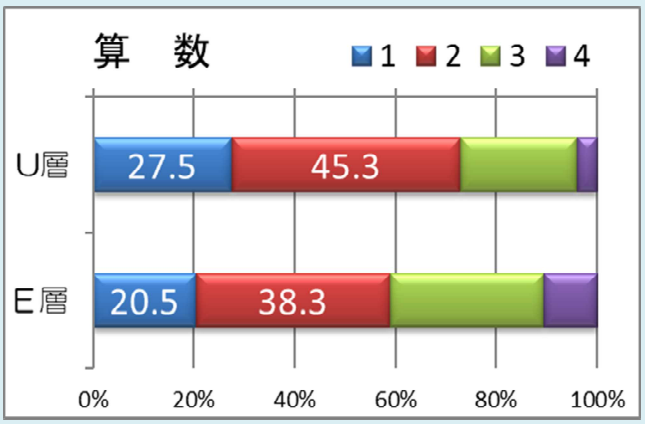




３６　５年生までに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





③学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）

【質問番号】３７～４５（9問）

分析結果

○９質問項目中，「３８　国語の勉強は大切だと思いますか」などの４項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
○９質問項目中，全ての項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。
○「国語の授業の内容はよく分かっている」，「国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」などの児童は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。
○本市では，国語に関する興味・関心，授業の理解度等についての質問に，肯定的に回答した児童の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改 善 策

○児童が「分かる」授業を行うためには，育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。

本改善策については，Ｐ２
「育てたい資質・能力を明確にした指導計画の作成」へ

○児童が「分かる」授業を行ったり，学んだことを活用しようとしたりするためには，効果的なまとめや振り返りを行うことが大切です。

本改善策については，Ｐ６
「学習内容の確実な定着を図るまとめ，振り返りの指導」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

３８　国語の勉強は大切だと思いますか（94.2%）
３９　国語の授業の内容はよく分かりますか（85.5%）
４０　国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（92.8%）
４５　今回の国語の問題について，解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について，どのように解答しましたか（84.1%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

３７　国語の勉強は好きですか（0.2）
３８　国語の勉強は大切だと思いますか（1.2）
３９　国語の授業の内容はよく分かりますか（0.6）

４０　国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（0.6）
４１　国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか（0.8）
４２　国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり書いたりしていますか（1.2）
４３　国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき，うまく伝わるように理由を示したりするなど，話や文章の組立てを工夫していますか（1.9）
４４　国語の授業で文章や資料を読むとき，目的に応じて，必要な語や文を見つけたり，文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか（2.6）
４５　今回の国語の問題について，解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について，どのように解答しましたか（3.7）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

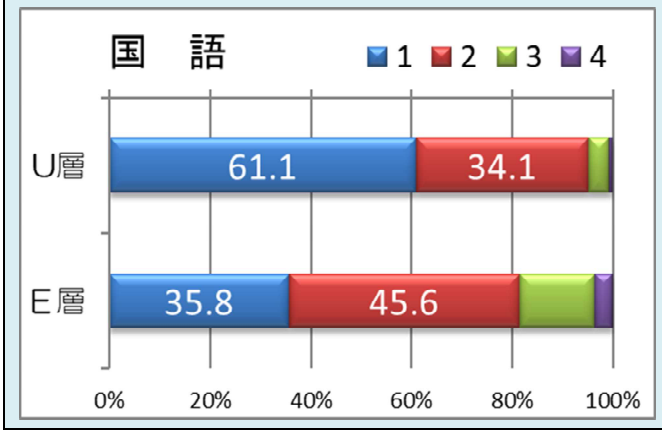
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

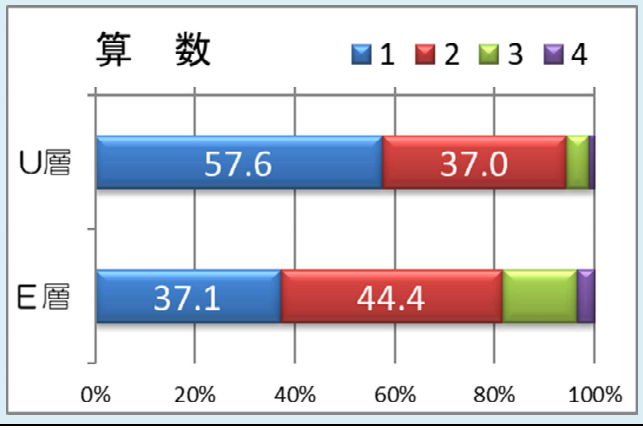
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（Ｕ層）とそれ以外の児童（Ｅ層）とのクロス集計

３９　国語の授業の内容はよく分かりますか

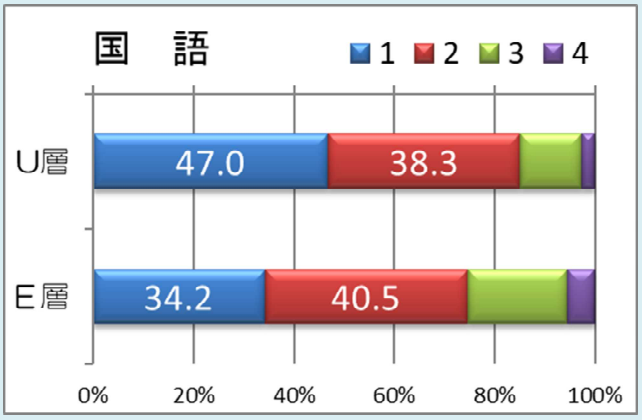
１　当てはまる　　２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない　　４　当てはまらない

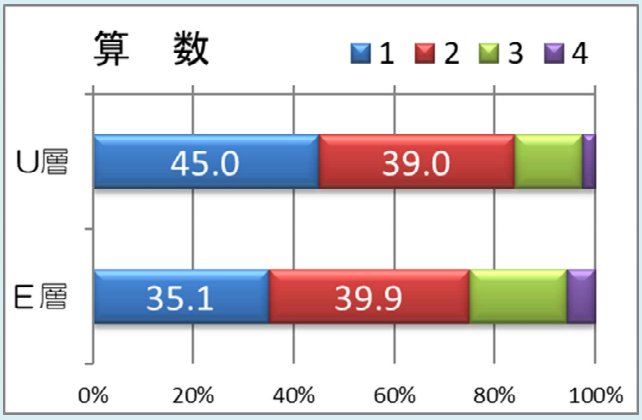




４１　国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





④学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）

【質問番号】４６～５６（１１問）

分析結果

○１１質問項目中，「４７　算数の勉強は大切だと思いますか」，「４９　算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか」などの８項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○１１質問項目中，７項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「５３　算数の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか」などの４項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「５５　算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」などの４項目において，肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

○「算数の授業の内容はよく分かる」，「算数の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用できないか考えている」などの児童は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，算数に関する興味・関心，授業の理解度等についての質問に，肯定的に回答した児童の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改 善 策

○児童が「分かる」授業を行うためには，育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。

本改善策については，Ｐ２
「育てたい資質・能力を明確にした指導計画の作成」へ

○児童が「分かる」授業を行ったり，学んだことを活用しようとしたりするためには，効果的なまとめや振り返りを行うことが大切です。

本改善策については，Ｐ６
「学習内容の確実な定着を図るまとめ，振り返りの指導」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

４７　算数の勉強は大切だと思いますか（94.5%）
４８　算数の授業の内容はよく分かりますか（82.9%）
４９　算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（93.8%）
５２　算数の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか（82.2%）
５３　算数の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか（80.9%）
５４　算数の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけを理解するようにしていますか（85.3%）

５５　算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（88.1%）
５６　今回の算数の問題について，言葉や数，式を使って，わけや求め方などを書く問題がありましたが，どのように解答しましたか（81.4%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

４７　算数の勉強は大切だと思いますか（0.8）
４９　算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（1.3）
５０　算数の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用できないか考えますか（0.3）
５２　算数の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか（0.2）
５４　算数の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけを理解するようにしていますか（1.3）
５５　算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（1.1）
５６　今回の算数の問題について，言葉や数，式を使って，わけや求め方などを書く問題がありましたが，どのように解答しましたか（0.7）

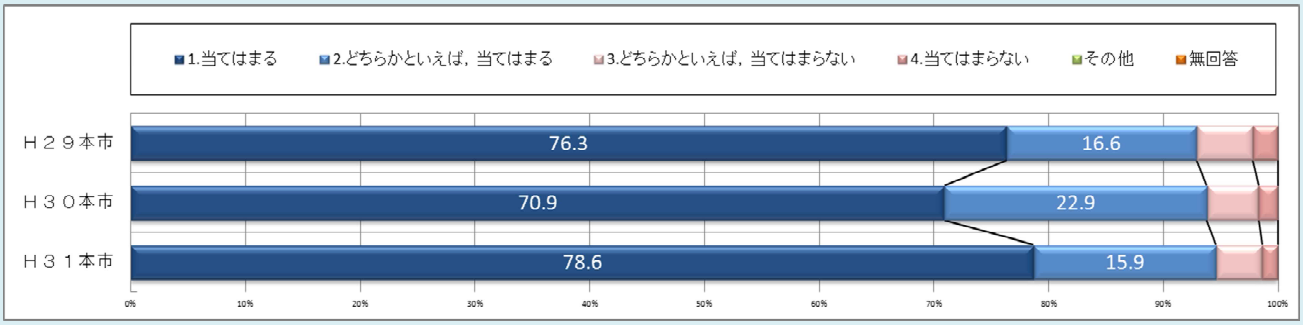
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

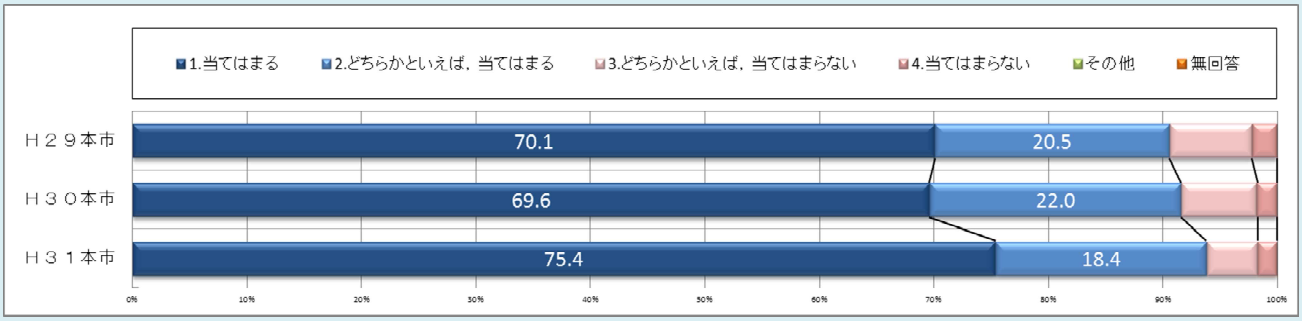
４６　算数の勉強は好きですか（▲1.5）
４８　算数の授業の内容はよく分かりますか（▲0.6）
５１　算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか（▲0.2）
５３　算数の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか（▲1.2）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

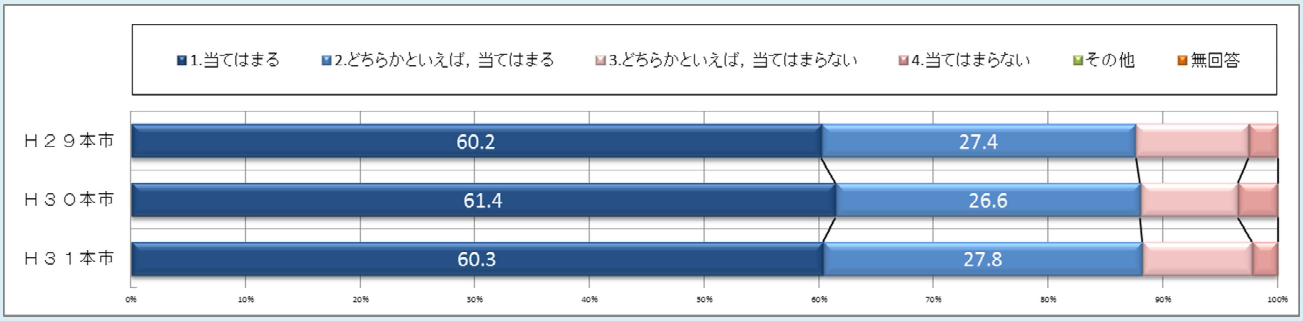
４７　算数の勉強は大切だと思いますか



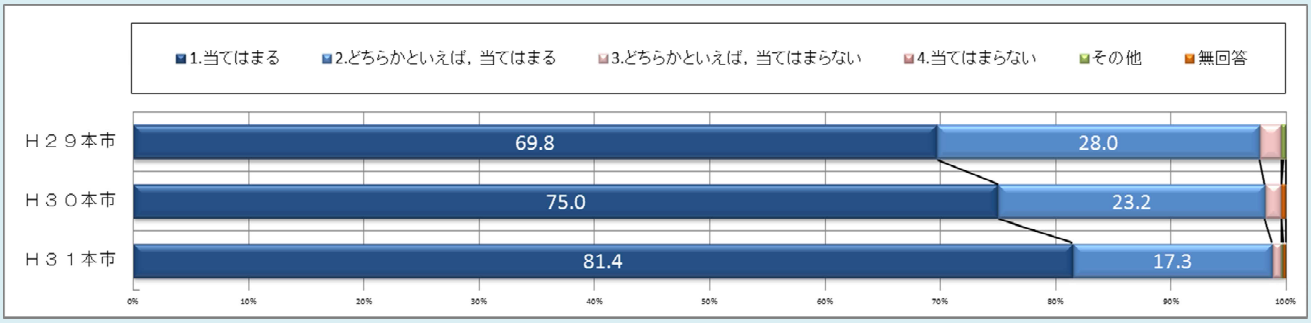
４９　算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか



５５　算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



５６　今回の算数の問題について，言葉や数，式を使って，わけや求め方などを書く問題がありましたが，どのように解答しましたか



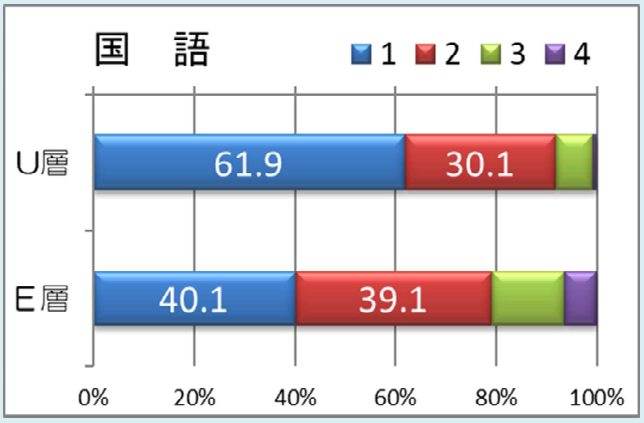
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

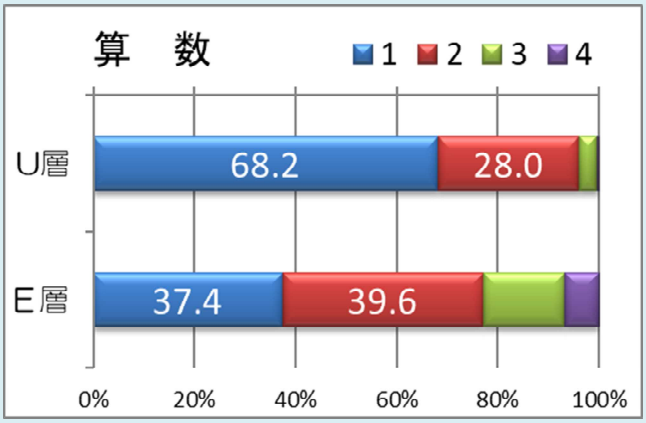
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

４８　算数の授業の内容はよく分かりますか

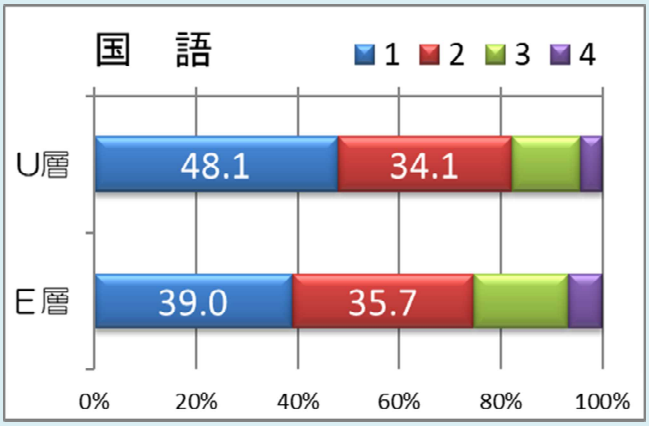
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない

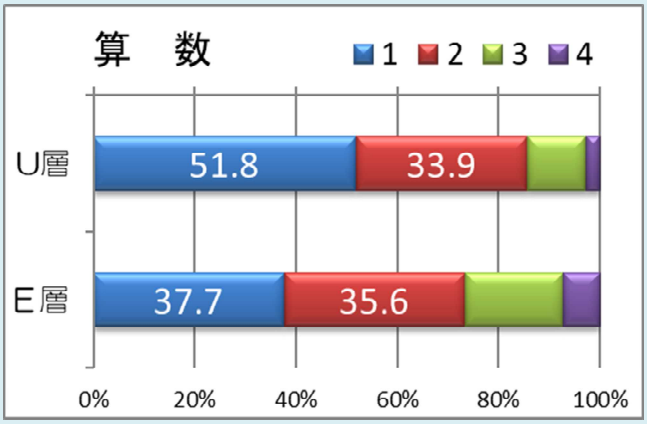




５０　算数の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用できないか考えますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





⑤地域や社会に関わる活動の状況等

【質問番号】２３～２６（4問）

分析結果

○４質問項目中，肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。一方，「２４　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の１項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
○４質問項目中，「２５　外国の人と友達になったり，外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」などの２項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「２３　今住んでいる地域の行事に参加していますか」などの２項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
○３年間の経年比較では，「２４　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の１項目において，肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。
○本市では，地域や社会に関わる活動の状況等についての質問に，肯定的な回答をした児童の割合が低い傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○児童が，朝の会や帰りの会等の中で，地域や社会に関わる出来事や行事に関心を持てるようにするためには，教師が地域や社会に関わる説話をしたり，児童が関心を持った地域や社会に関わる新聞記事やニュースを紹介する場面を設定したりするなどの工夫が大切です。
○児童が，各教科等の学習や教室の掲示物などを通して，地域や社会に関わる出来事や行事に関心を持てるようにするためには，地域や社会に関する様々な知識や考え方について指導する機会を確保したり，教室環境を整備したりするなどの工夫が大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

２４　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（53.4%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２５　外国の人と友達になったり，外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか（0.6）
２６　日本やあなたが住んでいる地域のことについて，外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか（0.4）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

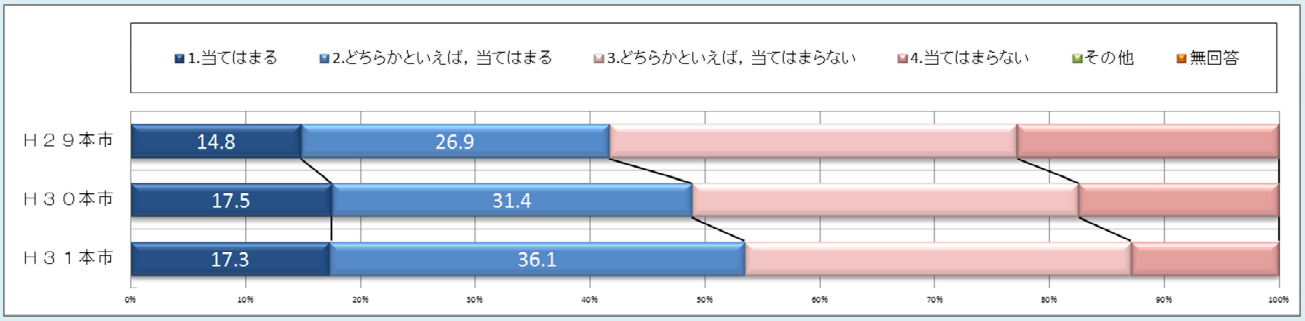
※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２３　今住んでいる地域の行事に参加していますか（▲5.1）

２４　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（▲1.1）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

２４　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

（２）「落ち着いた学級づくり」について

①挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等

【質問番号】５～１６（１２問）

分析結果

○１２質問項目中，「１５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか」などの１１項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○１２質問項目中，「７　先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれていると思いますか」などの７項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「９　ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか」などの５項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。

○「学校に行くのは楽しいと思う」児童は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等についての質問に，肯定的に回答した児童の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改　善　策

○対話的な学びを支え，確かな学力を育成するためには，適切な児童生徒理解に基づいた人間関係づくりが大切です。

本改善策については，Ｐ８
「対話的な学びを支える人間関係づくり」へ

○きまりを守って落ち着いて学習に取り組むためには，凡事徹底の指導とともに，教室環境を整えることが大切です。

本改善策については，Ｐ１０
「学習に集中できる教室環境の整備」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

５　自分には，よいところがあると思いますか（82.0%）
６　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（87.6%）
７　先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれていると思いますか（93.9%）
８　将来の夢や目標を持っていますか（84.8%）
９　ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか（94.5%）
１１　学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み，うれしかったことがありますか（85.1%）

１２　学校に行くのは楽しいと思いますか（83.9%）
１３　学校のきまりを守っていますか（92.2%）
１４　人が困っているときは，進んで助けていますか（88.0%）
１５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか（98.4%）
１６　人の役に立つ人間になりたいと思いますか（94.9%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

５　自分には，よいところがあると思いますか（0.8）
６　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（1.5）
７　先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれていると思いますか（2.2）
８　将来の夢や目標を持っていますか（1.0）
１１　学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み，うれしかったことがありますか（1.0）
１４　人が困っているときは，進んで助けていますか（0.1）
１５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか（1.3）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

９　ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか（▲0.7）
１０　難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか（▲0.1）
１２　学校に行くのは楽しいと思いますか（▲1.9）
１３　学校のきまりを守っていますか（▲0.1）
１６　人の役に立つ人間になりたいと思いますか（▲0.3）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

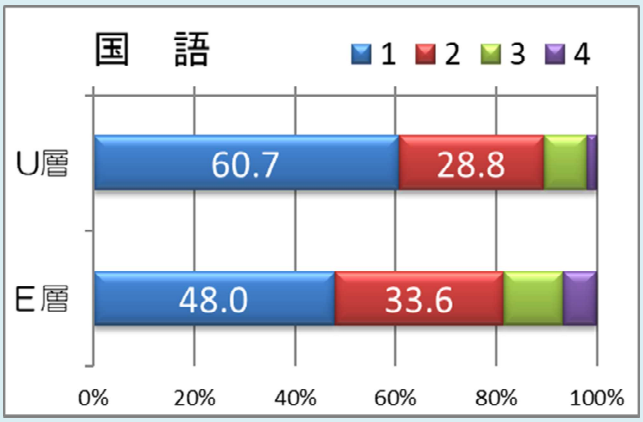
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

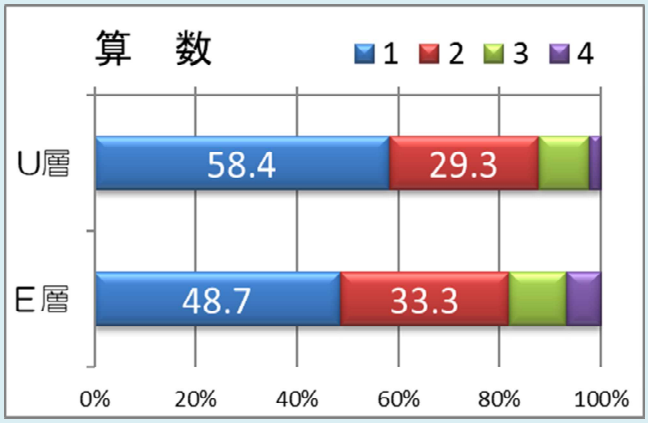
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

１２　学校に行くのは楽しいと思いますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





（３）「望ましい学習習慣づくり」について

①基本的生活習慣等

【質問番号】１～４（４問）

分析結果

○４質問項目中，「１　朝食を毎日食べていますか」などの３項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
○４質問項目中，「２　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか」の１項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「３　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか」などの３項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
○３年間の経年比較では，肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。
○「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」などの児童は，教科に関する調査において，正答率が高い傾向にあります。
○本市では，基本的生活習慣等についての一連の質問に，肯定的に回答した児童の割合は，平成２９年度，平成３０年度とほぼ同様の傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○義務教育９年間を通して望ましい生活習慣づくりを推進する上で，同一中学校区内で，保護者や地域と連携した取組を進めるためには，学校全体，校種を通じた系統的・継続的な指導によって改善・充実を図っていくことが大切です。
○基本的生活習慣を身に付けさせるためには，「健康・生活チェックシート」を活用するなどして，「毎日，同じくらいの時刻に起きる・寝る」，「放課後や週末に何をして過ごすか」など児童自らがよりよい生活習慣を考えられるよう働きかけを工夫することが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

１　朝食を毎日食べていますか（94.1%）
２　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか（82.0%）
３　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか（90.3%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか（0.6）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

１　朝食を毎日食べていますか（▲1.2）
３　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか（▲1.3）
４　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか（▲0.8）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

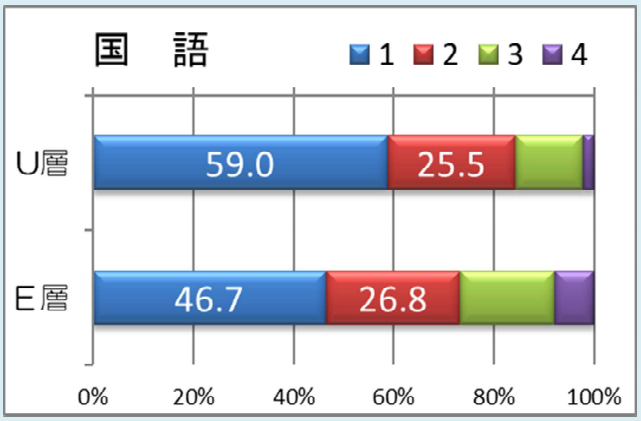
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

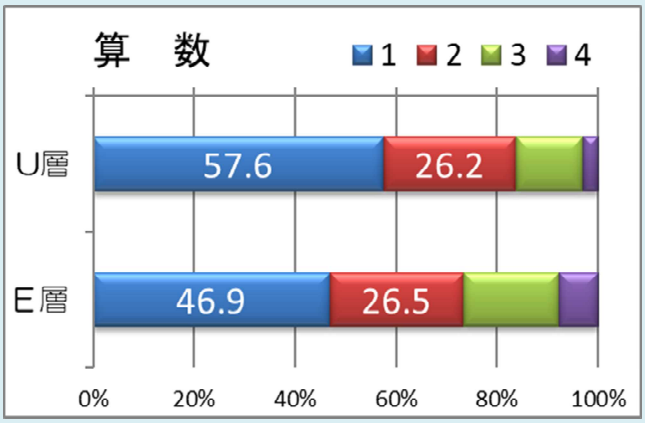
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

４　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない





②学習習慣等

【質問番号】１７～２２（6問）

分析結果

○６質問項目中，肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。一方，「２０　昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除きます。）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」などの３項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○６質問項目中，「１７　家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」などの４項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「１８　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）」などの２項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「１０　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか」などの２項目において，肯定的な回答が増加傾向にありました。一方，「２２　新聞を読んでいますか」の１項目において，肯定的な回答が減少傾向を示しました。

○「家で，自分で計画を立てて勉強をしている」などの児童は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，学習習慣等についての質問に，肯定的な回答をした児童の割合が低い傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○確かな学力を育成するためには，家庭においても，見通しを持って計画的に学習に取り組ませることが大切です。

本改善策については，Ｐ１２
「見通しを持って計画的に学習に取り組ませる指導」へ

○家庭での学習習慣を定着させるためには，オンラインサービスを活用した家庭学習等に取り組ませることが大切です。

本改善策については，Ｐ１４
「家庭との連携によるオンラインサービスを活用した家庭学習」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

１９　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）（36.9%）

※この質問項目については，１日３０分以上の割合を肯定的な回答としました。

２０　昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除きます。）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか※週に１回以上（20.3%）

※この質問項目については，週に１回以上の割合を肯定的な回答としました。

２２　新聞を読んでいますか（20.3%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

１７　家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（4.2）

２０　昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除きます。）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか※週に１回以上（3.1）

※この質問項目については，週に１回以上の割合を全国の数値と比較しました。

２１　読書は好きですか（1.2）

２２　新聞を読んでいますか（1.3）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

１８　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）（▲4.3）

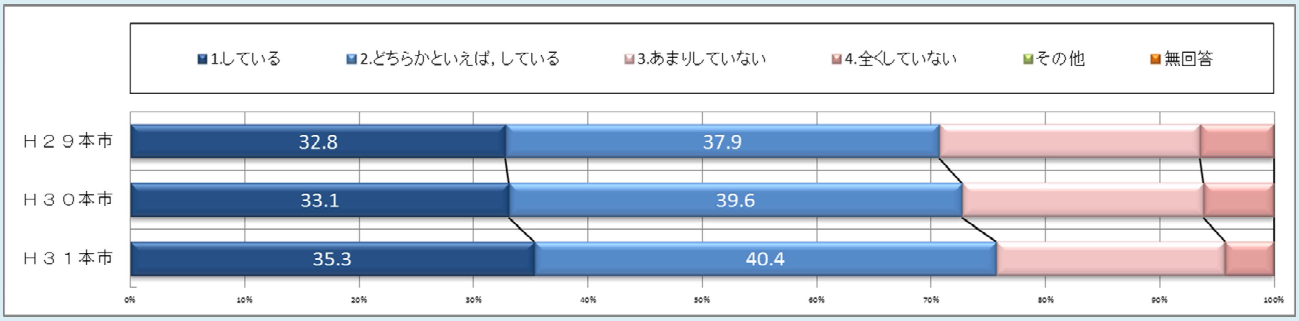
※この質問項目については，１日１時間以上の割合を全国の数値と比較しました。

１９　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）（▲2.9）

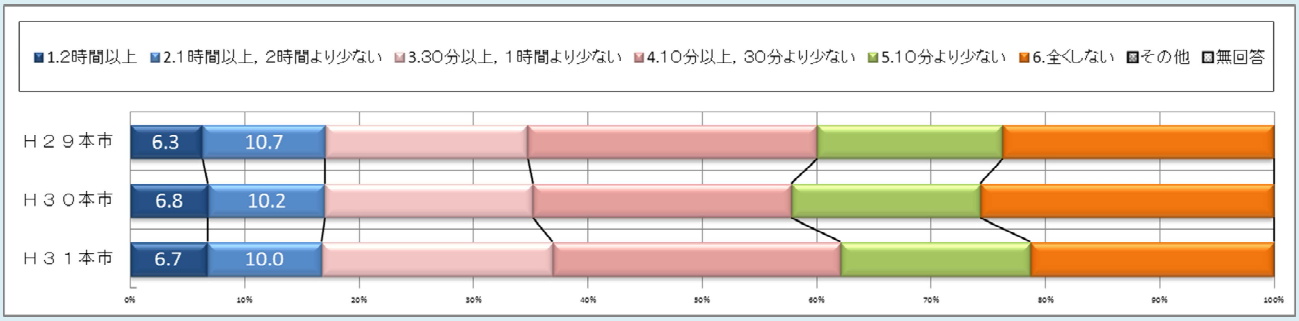
※この質問項目については，１日３０分以上の割合を全国の数値と比較しました。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

１７　家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

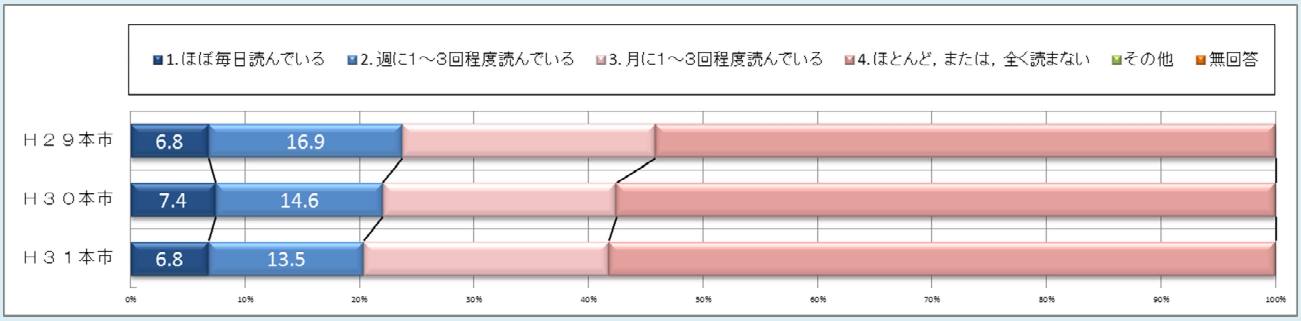


１９　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）



肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

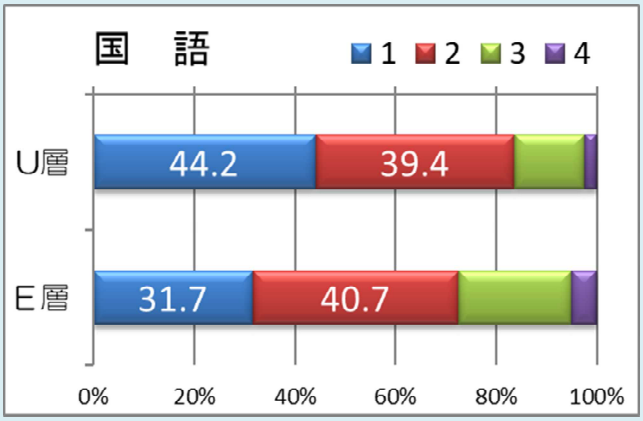
２２　新聞を読んでいますか

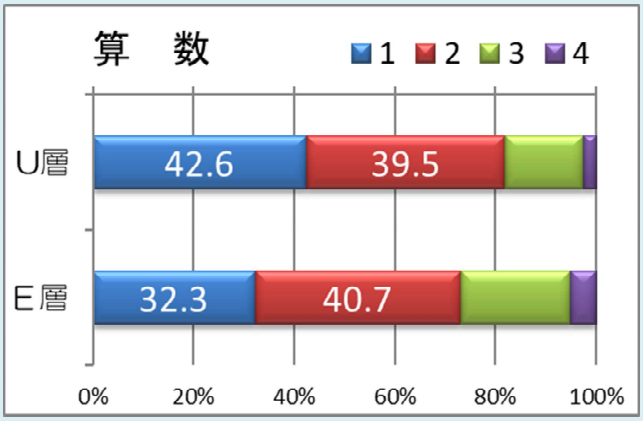


正答数が多い児童（Ｕ層）とそれ以外の児童（Ｅ層）とのクロス集計

１７　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか

１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない





３　中学校・生徒質問紙調査の分析結果

（１）「学びを深める授業づくり」について

①ＩＣＴを活用した学習状況

【質問番号】２７～２８（2問）

分析結果

○２質問項目中，全ての項目において肯定的な回答が高い割合及び低い割合にある項目はありませんでした。
○２質問項目中，全ての項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
○「授業でもっとコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思う」生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。
○本市では，ＩＣＴを活用した学習状況についての質問に，肯定的な回答をした生徒の割合が低い傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○確かな学力を育成するためには，実物投影機や大型提示装置（プロジェクター，電子黒板など）などのＩＣＴを効果的に活用することが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

３０　１，２年生のときに受けた授業で，コンピュータなどのＩＣＴをどの程度使用しましたか（▲1.2）
※この質問項目については，月１回以上の割合を全国の数値と比較しました。
３１　授業でもっとコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思いますか（▲4.9）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

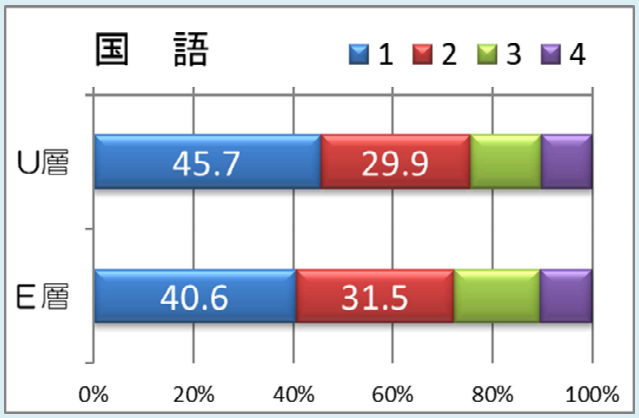
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

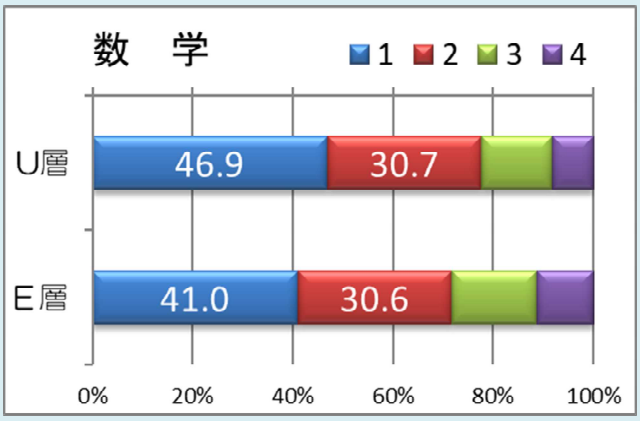
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

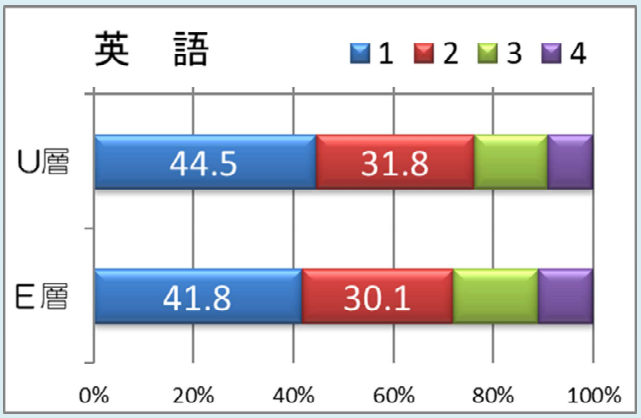
正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

３１　授業でもっとコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思いますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない







②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

分析結果

【質問番号】３２～３９（８問）

○８質問項目中，肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。一方，「３８　１，２年生のときに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の１項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○８質問項目中，「３４　総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか」などの５項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「３３　授業で学んだことを，ほかの学習に生かしていますか」などの３項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。

○「授業で学んだことを，ほかの学習に生かしている」，「総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」，「課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいる」「自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表している」などの生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況についての一連の質問において，肯定的に回答した生徒の割合が高い傾向にあり，指導の改善・充実が進んでいる状況であると分析しました。

改 善 策

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するためには，生徒の学習状況等に着目し，学習指導の改善・充実を図る観点から，学校全体で組織的・継続的な取組を進めることが大切です。

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するためには，各教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせる場面を設定したり，手立てを工夫したりすることが大切です。

本改善策については，Ｐ４
「各教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせる場面の設定と手立ての工夫」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

３８　１，２年生のときに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか（53.6%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

３２　生徒の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか（0.1）
３４　総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか（7.6）
３５　あなたの学級では，学級生活をよりよくするために学級会で話し合い，互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか（1.3）
３６　学級活動における学級での話合いを生かして，今，自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか（0.3）
３９　１，２年生のときに受けた道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか（1.8）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

３３　授業で学んだことを，ほかの学習に生かしていますか（▲2.6）
３７　１，２年生のときに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか（▲0.7）
３８　１，２年生のときに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか（▲2.2）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

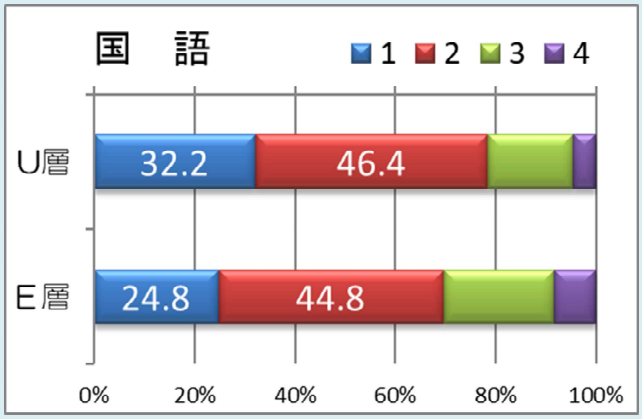
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

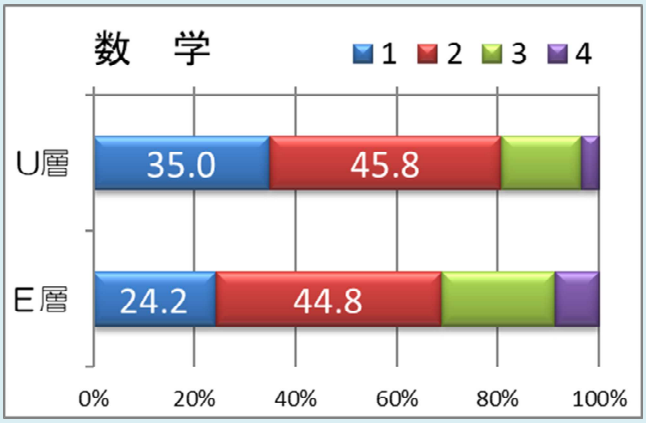
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

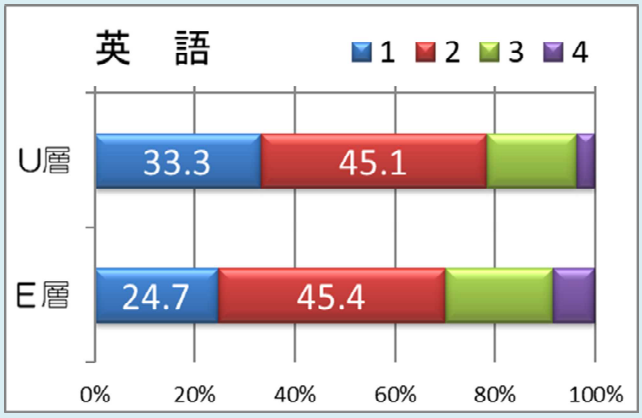
正答数が多い生徒（Ｕ層）とそれ以外の生徒（Ｅ層）とのクロス集計

３２　生徒の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない

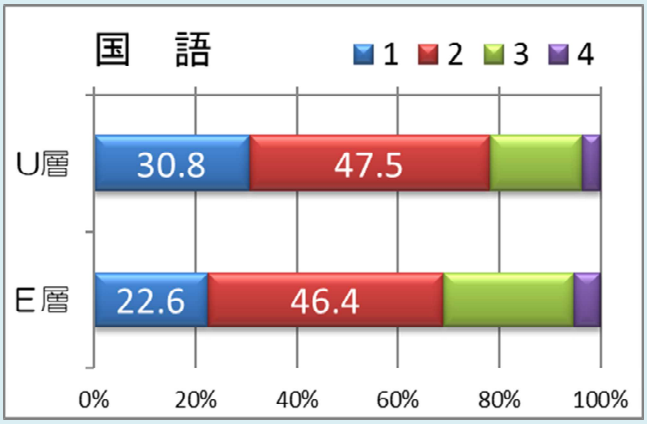


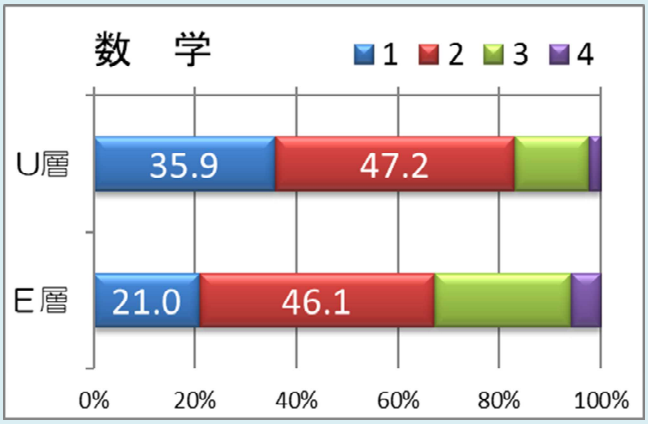


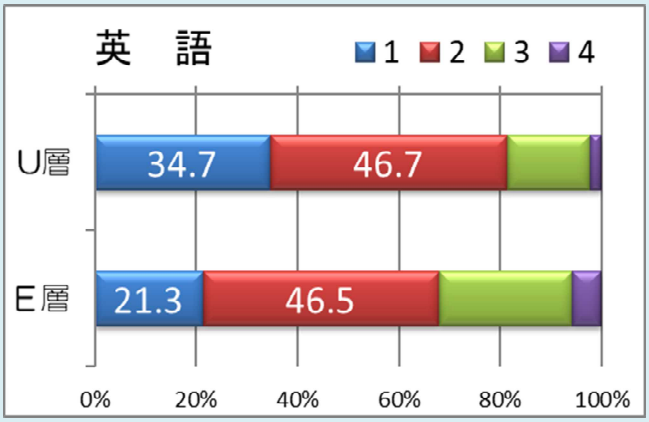


３３　授業で学んだことを，ほかの学習に生かしていますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない

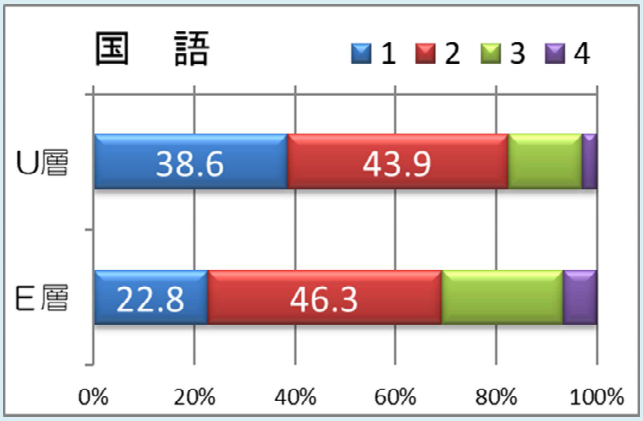


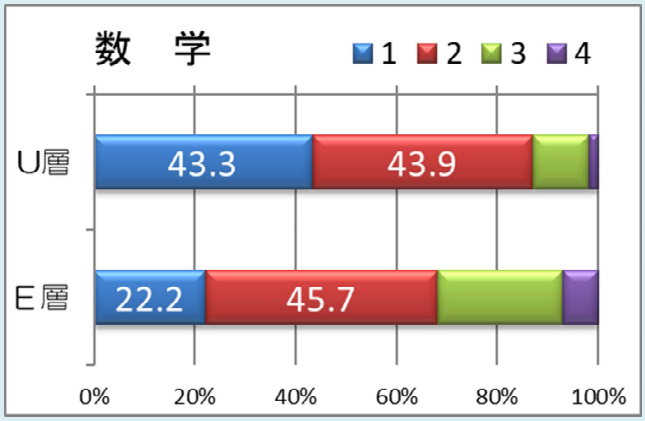


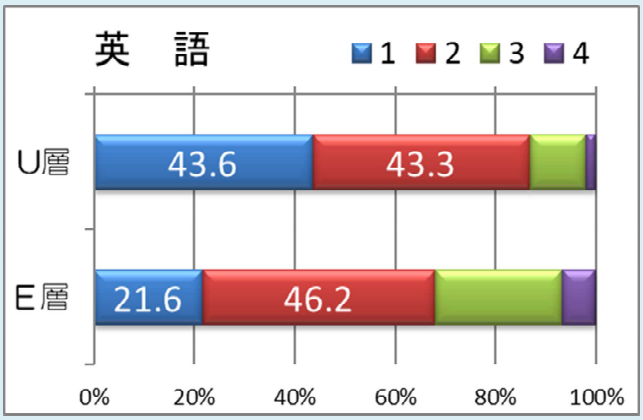


３７　１，２年生のときに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない

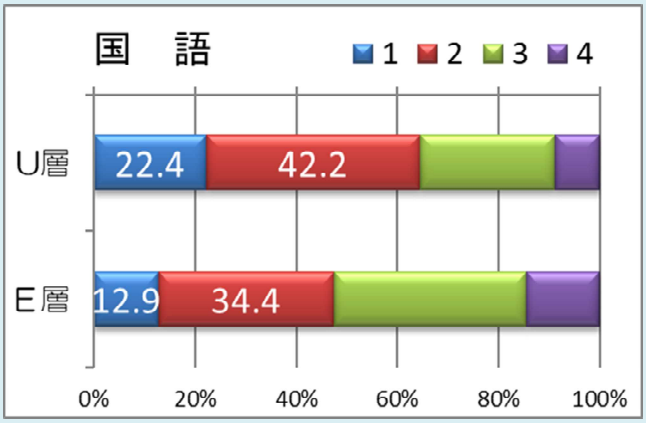


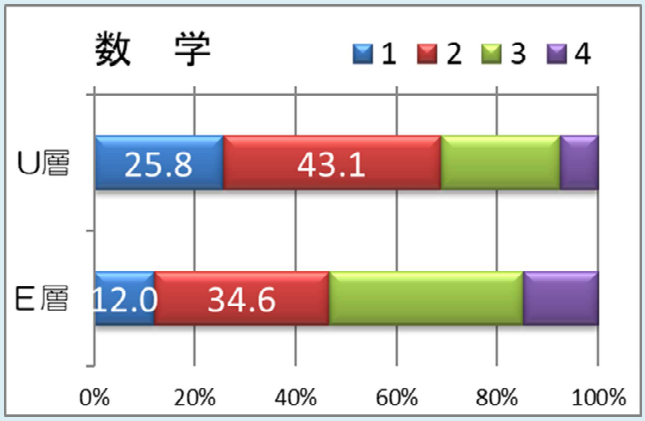


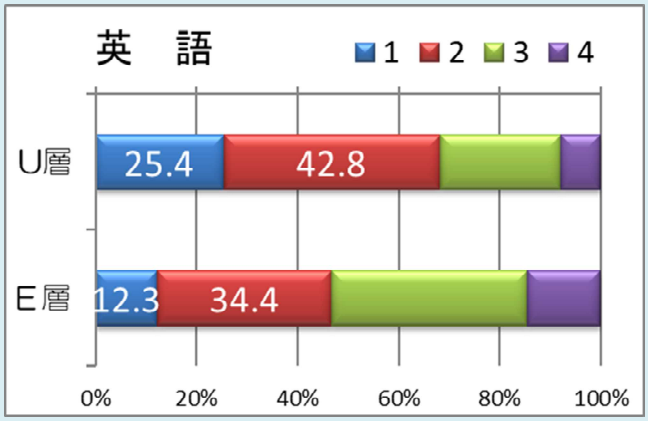


３８　１，２年生のときに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない






英　語
1
2
3
4
U層
25.4
42.8
E層
12.3
34.4
0%
20%
40%
60%
80%
100%

③学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）

【質問番号】４０～４８（９問）

分析結果

○９質問項目中，「４１　国語の勉強は大切だと思いますか」などの３項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○９質問項目中，「４０　国語の勉強は好きですか」などの７項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「４４　国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか」などの２項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○「国語の授業の内容はよく分かっている」，「国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」などの生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，国語に関する興味・関心，授業の理解度等についての質問に，肯定的に回答した生徒の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改 善 策

○生徒が「分かる」授業を行うためには，育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。

本改善策については，Ｐ２
「育てたい資質・能力を明確にした指導計画の作成」へ

○生徒が「分かる」授業を行ったり，学んだことを活用しようとしたりするためには，効果的なまとめや振り返りを行うことが大切です。

本改善策については，Ｐ６
「学習内容の確実な定着を図るまとめ，振り返りの指導」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

４１　国語の勉強は大切だと思いますか（91.4%）
４３　国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（88.9%）
４８　今回の国語の問題について，解答を文章で書く問題がありましたが，どのように解答しましたか（80.4%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

４０　国語の勉強は好きですか（2.7）
４１　国語の勉強は大切だと思いますか（0.4）
４２　国語の授業の内容はよく分かりますか（2.1）
４３　国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（0.9）
４５　国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり書いたりしていますか（2.2）
４７　国語の授業で文章や資料を読むとき，目的に応じて，必要な語や文を見つけたり，文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか（1.5）
４８　今回の国語の問題について，解答を文章で書く問題がありましたが，どのように解答しましたか（0.6）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

４４　国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか（▲0.5）
４６　国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき，うまく伝わるように根拠を示したりするなど，話や文章の組立てを工夫していますか（▲0.4）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

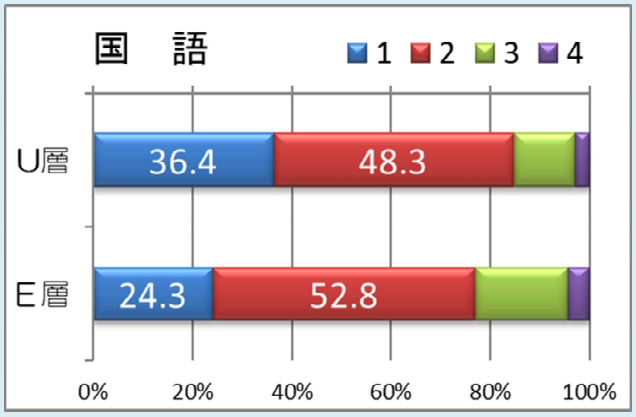
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

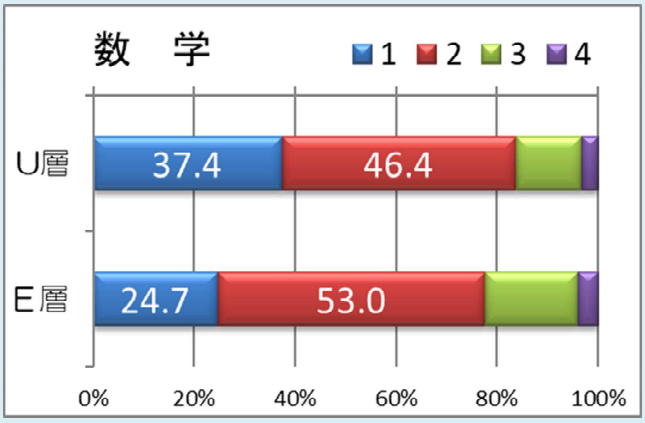
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

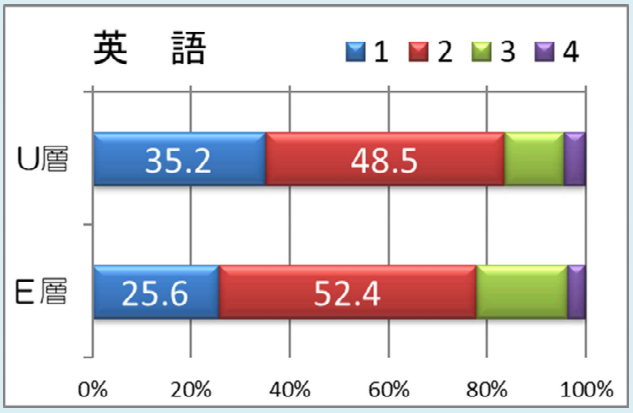
正答数が多い生徒（Ｕ層）とそれ以外の生徒（Ｅ層）とのクロス集計

４２　国語の授業の内容はよく分かりますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない

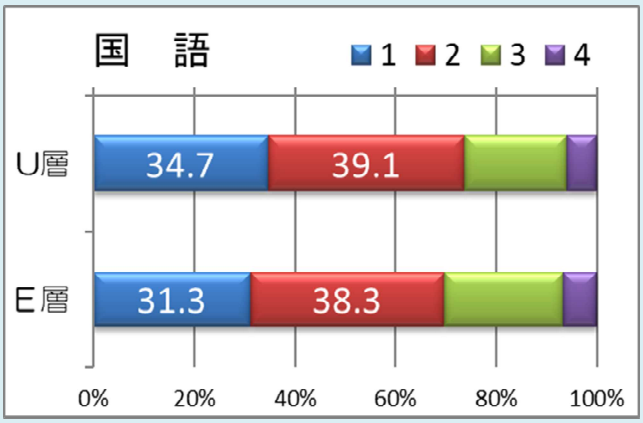


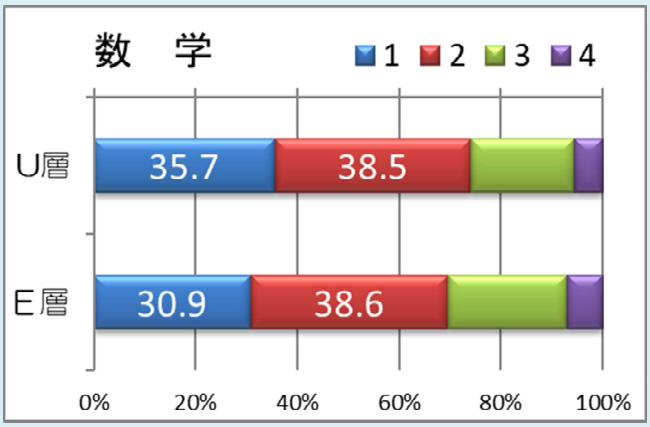


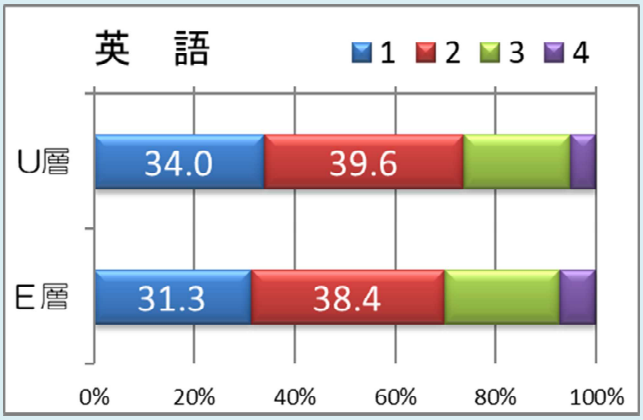


４４　国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない







④学習に対する興味・関心や授業の理解度等（数学）

【質問番号】４９～５３（5問）

分析結果

○５質問項目中，「５０　数学の勉強は大切だと思いますか」の１項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，「４９　数学の勉強は好きですか」などの２項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
○５質問項目中，「５２　数学の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか」の１項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「５１　数学の授業の内容はよく分かりますか」などの３項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
○３年間の経年比較では，「５１　数学の授業の内容はよく分かりますか」などの３項目において，肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。
○「数学の授業の内容はよく分かる」などの生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。
○本市では，数学に関する興味・関心，授業の理解度等についての一連の質問に，肯定的に回答した生徒の割合は，平成２９年度，平成３０年度とほぼ同様の傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○生徒が「分かる」授業を行うためには，育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。

本改善策については，Ｐ２
「育てたい資質・能力を明確にした指導計画の作成」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

５０　数学の勉強は大切だと思いますか（84.2%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

４９　数学の勉強は好きですか（54.9%）
５３　今回の数学の問題について，解答を言葉や数，式を使って説明する問題がありましたが，どのように解答しましたか（57.2%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

５２　数学の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（0.3）

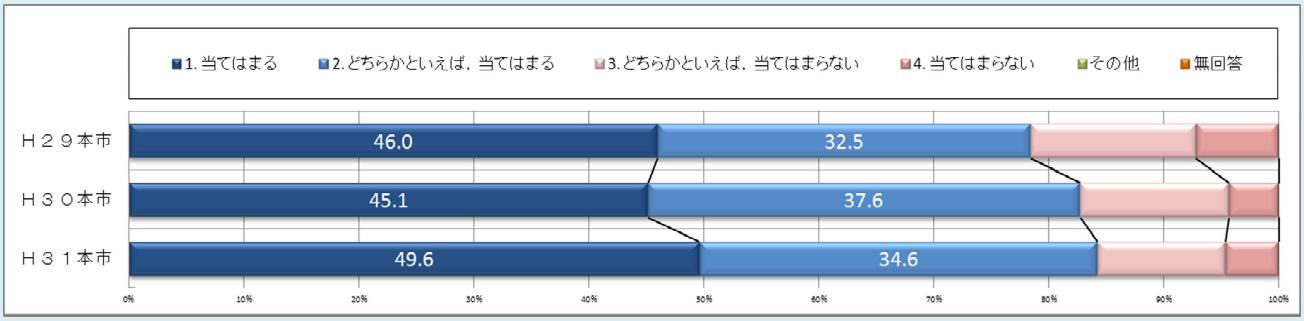
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

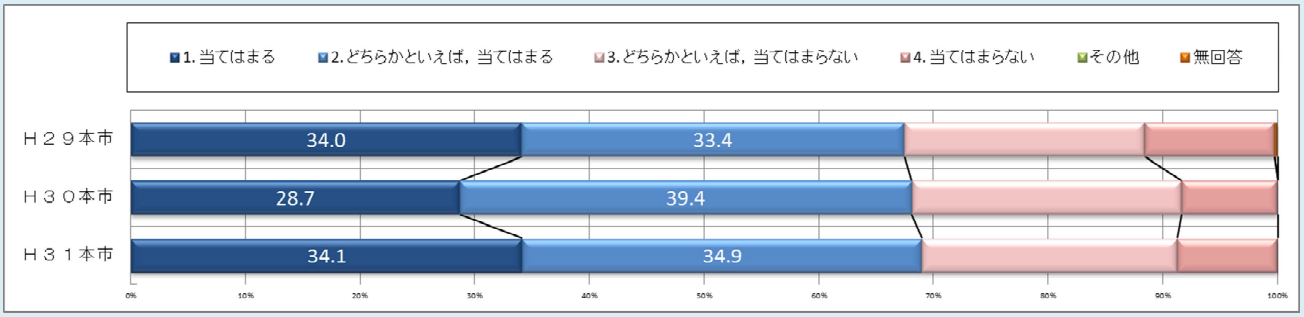
４９　数学の勉強は好きですか（▲3.0）
５１　数学の授業の内容はよく分かりますか（▲4.9）
５３　今回の数学の問題について，解答を言葉や数，式を使って説明する問題がありましたが，どのように解答しましたか（▲3.6）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

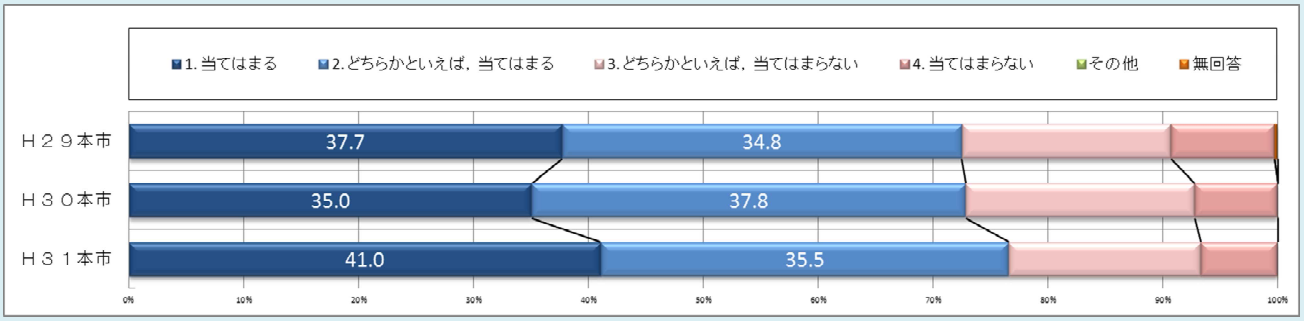
５０　数学の勉強は大切だと思いますか



５１　数学の授業の内容はよく分かりますか



５２　数学の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか



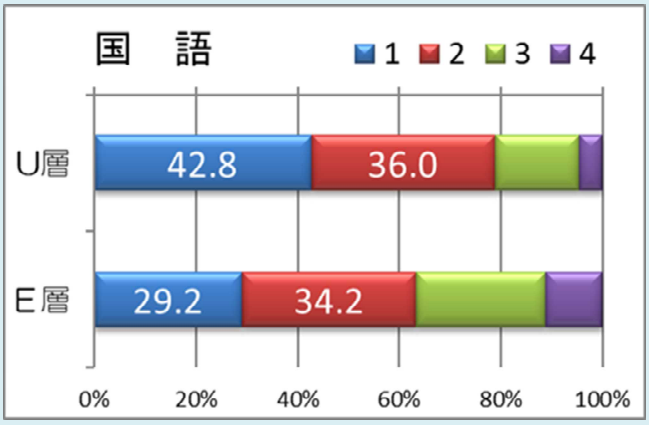
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

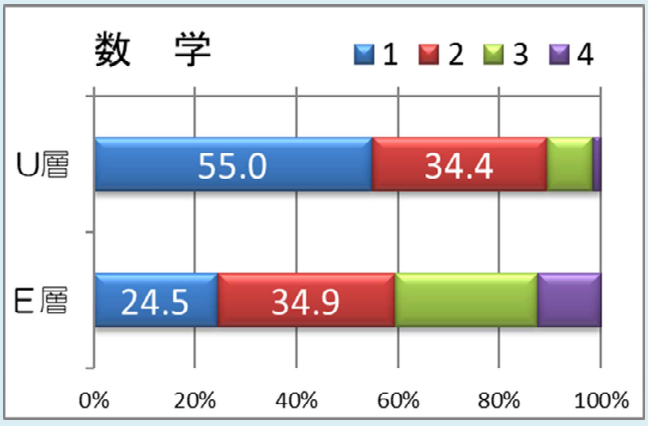
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

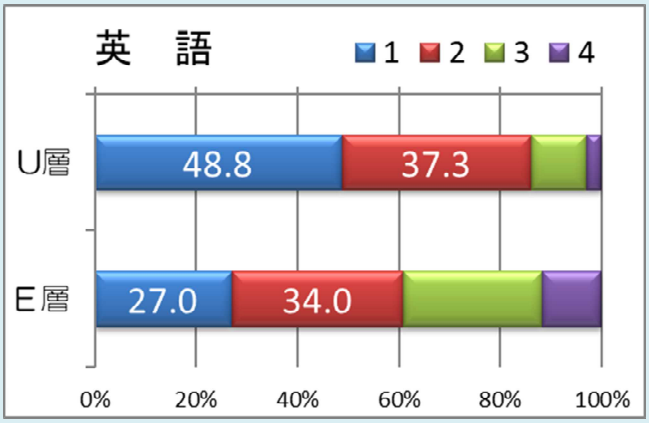
正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

５１　数学の授業の内容はよく分かりますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない







⑤学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）

【質問番号】５４～６６（１３問）

分析結果

○１３質問項目中，「６１　１，２年生のときに受けた授業では，英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか」などの６項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，「５８　あなたはこれまで，学校の授業やそのための学習以外で，日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す，手紙や電子メールを書く，英語のテレビやホームページを見る，英会話教室に通うなど）が十分にありましたか」などの３項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○１３質問項目中，「６５　１，２年生のときに受けた授業では，聞いたり読んだりしたことについて，生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」などの６項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「６３　１，２年生のときに受けた授業では，スピーチやプレゼンテーションなど，まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」などの７項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○「英語の授業の内容はよく分かる」などの生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，英語に関する興味・関心，授業の理解度等についての質問に，肯定的に回答した生徒の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改 善 策

○生徒が「分かる」授業を行うためには，育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。

本改善策については，Ｐ２
「育てたい資質・能力を明確にした指導計画の作成」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

５５　英語の勉強は大切だと思いますか（81.3%）
５７　英語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（82.1%）
６０　１，２年生のときに受けた授業では，英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか（83.3%）
６１　１，２年生のときに受けた授業では，英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか（84.7%）
６４　１，２年生のときに受けた授業では，自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか（81.9%）
６５　１，２年生のときに受けた授業では，聞いたり読んだりしたことについて，生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか（82.1%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

５４　英語の勉強は好きですか（50.6%）
５８　あなたはこれまで，学校の授業やそのための学習以外で，日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す，手紙や電子メールを書く，英語のテレビやホームページを見る，英会話教室に通うなど）が十分にありましたか（28.4%）
５９　あなたは将来，積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。あなたが将来就きたいと思う仕事に就いたり，叶えたい夢を実現させるためには，英語の力は必要になると思いますか。（31.8%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

６０　１，２年生のときに受けた授業では，英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか（4.1）
６１　１，２年生のときに受けた授業では，英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか（3.5）
６２　１，２年生のときに受けた授業では，原稿などの準備をすることなく，（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか（3.9）
６４　１，２年生のときに受けた授業では，自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか（1.8）
６５　１，２年生のときに受けた授業では，聞いたり読んだりしたことについて，生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか（4.7）
６６　１，２年生のときに受けた授業では，聞いたり読んだりしたことについて，その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか（4.2）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

５４　英語の勉強は好きですか（▲5.4）
５５　英語の勉強は大切だと思いますか（▲4.1）
５６　英語の授業はよく分かりますか（▲0.6）
５７　英語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（▲3.3）
５８　あなたはこれまで，学校の授業やそのための学習以外で，日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す，手紙や電子メールを書く，英語のテレビやホームページを見る，英会話教室に通うなど）が十分にありましたか（▲5.4）
５９　あなたは将来，積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。あなたが将来就きたいと思う仕事に就いたり，叶えたい夢を実現させるためには，英語の力は必要になると思いますか（▲9.5）
６３　１，２年生のときに受けた授業では，スピーチやプレゼンテーションなど，まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか（▲8.4）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

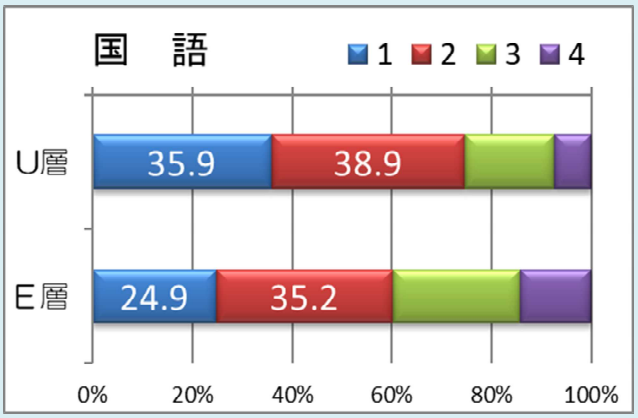
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

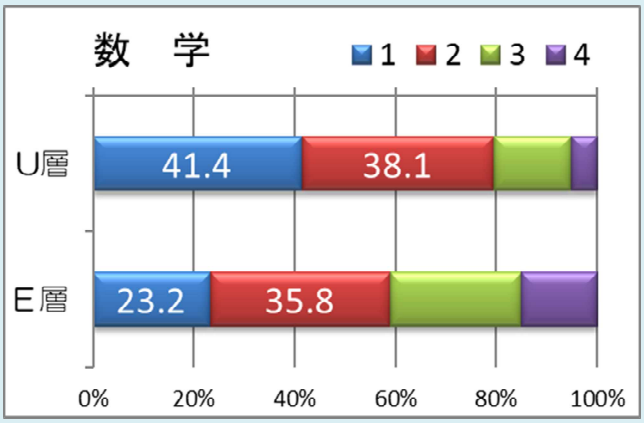
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

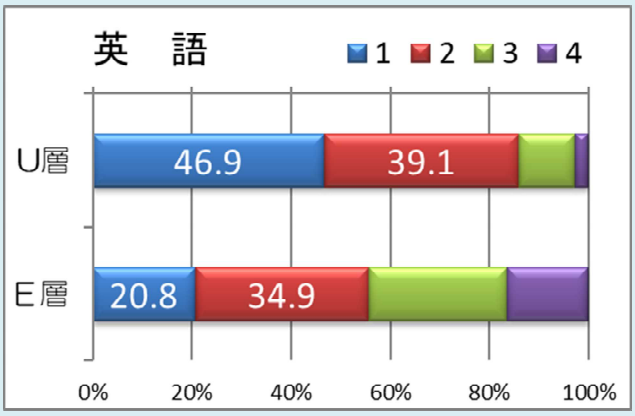
正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

５６　英語の授業はよく分かりますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない







⑥地域や社会に関わる活動の状況等

【質問番号】２３～２６（４問）

分析結果

○４質問項目中，肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。一方，「２４　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」などの３項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
○４質問項目中，「２３　今住んでいる地域の行事に参加していますか」など全ての項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
○３年間の経年比較では，肯定的な回答が増加傾向にある項目はありませんでした。一方，「２５　新聞を読んでいますか」の１項目において，肯定的な回答が減少傾向を示しました。
○本市では，地域や社会に関わる活動の状況等についての質問に，肯定的な回答をした生徒の割合が低い傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○生徒が，朝の会や帰りの会等の中で，地域や社会に関わる出来事や行事に関心を持てるようにするためには，教師が地域や社会に関わる説話をしたり，児童が関心を持った地域や社会に関わる新聞記事やニュースを紹介する場面を設定したりするなどの工夫が大切です。
○生徒が，各教科等の学習や教室の掲示物などを通して，地域や社会に関わる出来事や行事に関心を持てるようにするためには，地域や社会に関する様々な知識や考え方について指導する機会を確保したり，教室環境を整備したりするなどの工夫が大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

２３　今住んでいる地域の行事に参加していますか（38.4%）
２４　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（35.6%）
２６　日本やあなたが住んでいる地域のことについて，外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか（59.2%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

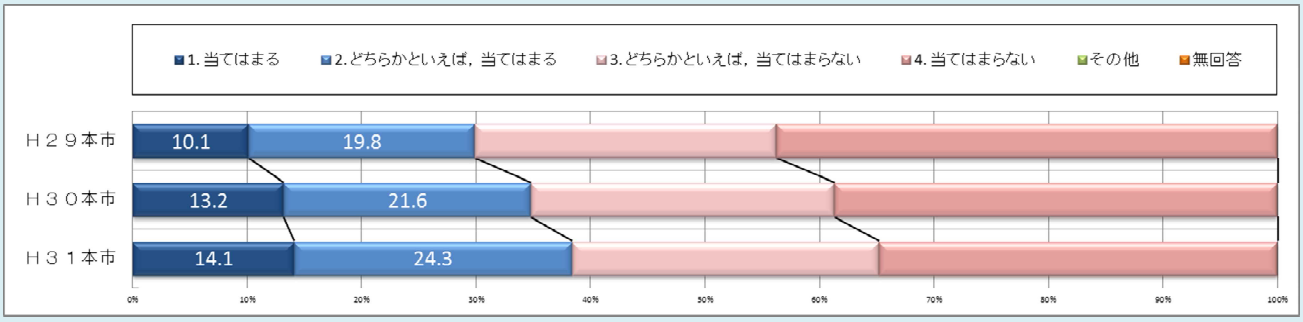
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２３　今住んでいる地域の行事に参加していますか（▲12.2）
２４　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（▲3.8）
２５　外国の人と友達になったり，外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか（▲2.3）
２６　日本やあなたが住んでいる地域のことについて，外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか（▲0.1）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

２３　今住んでいる地域の行事に参加していますか



肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

（２）「落ち着いた学級づくり」について

①挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等

【質問番号】５～１６（１２問）

分析結果

○１２質問項目中，「１５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか」などの８項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○１２質問項目中，「７　先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれていると思いますか」などの４項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「１４　人が困っているときは，進んで助けていますか」などの８項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「６　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」と「１３　学校の規則を守っていますか」の２項目において，肯定的な回答が増加傾向にあり，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

○「学校に行くのは楽しいと思う」生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等についての質問に，肯定的に回答した生徒の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改　善　策

○対話的な学びを支え，確かな学力を育成するためには，適切な児童生徒理解に基づいた人間関係づくりが大切です。

本改善策については，Ｐ８
「対話的な学びを支える人間関係づくり」へ

○きまりを守って落ち着いて学習に取り組むためには，凡事徹底の指導とともに，教室環境を整えることが大切です。

本改善策については，Ｐ１０
「学習に集中できる教室環境の整備」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

６　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（82.5%）
７　先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれていると思いますか（88.3%）
９　ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか（93.4%）
１１　学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み，うれしかったことがありますか（85.1%）
１３　学校の規則を守っていますか（95.6%）
１４　人が困っているときは，進んで助けていますか（83.6%）

１５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか（96.2%）
１６　人の役に立つ人間になりたいと思いますか（93.9%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

６　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（1.0）
７　先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれていると思いますか（3.7）
１１　学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み，うれしかったことがありますか（2.3）
１５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか（1.1）

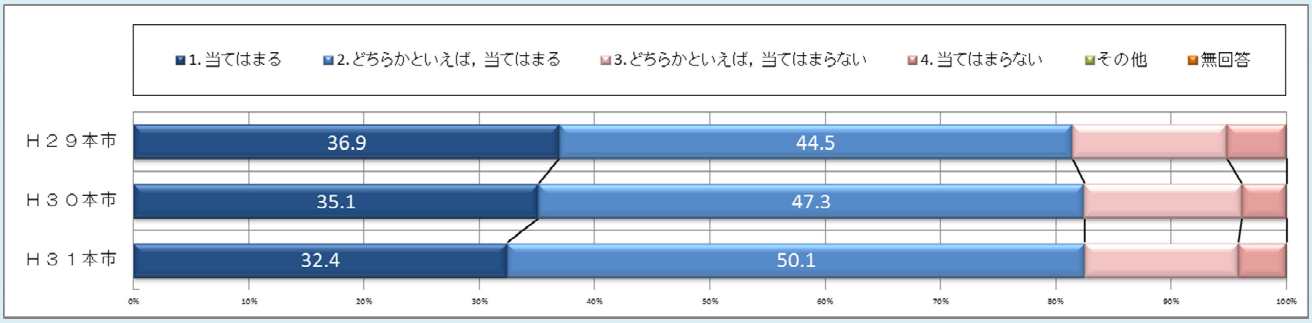
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

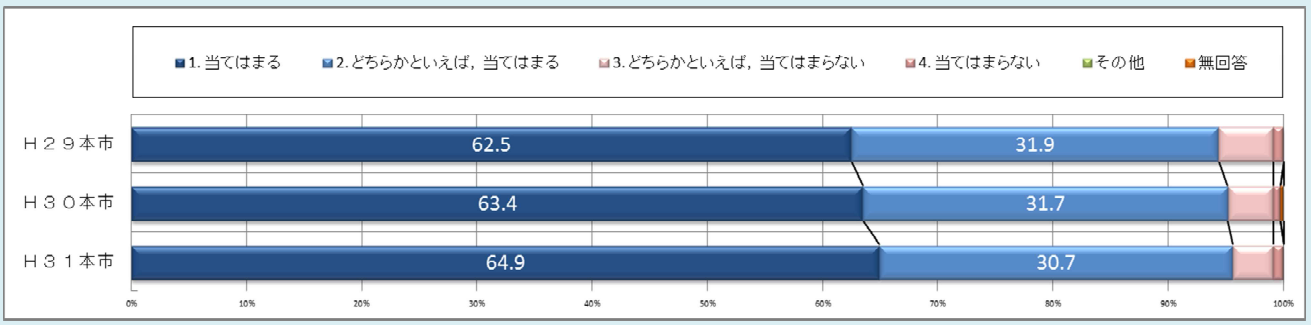
５　自分には，よいところがあると思いますか（▲2.3）
８　将来の夢や目標を持っていますか（▲0.7）
９　ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか（▲0.5）
１０　難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか（▲0.8）
１２　学校に行くのは楽しいと思いますか（▲2.6）
１３　学校の規則を守っていますか（▲0.6）
１４　人が困っているときは，進んで助けていますか（▲2.3）
１６　人の役に立つ人間になりたいと思いますか（▲0.4）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

６　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



１３　学校の規則を守っていますか



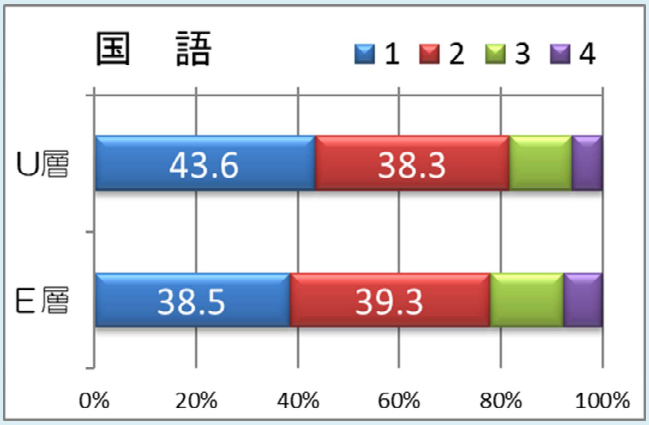
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

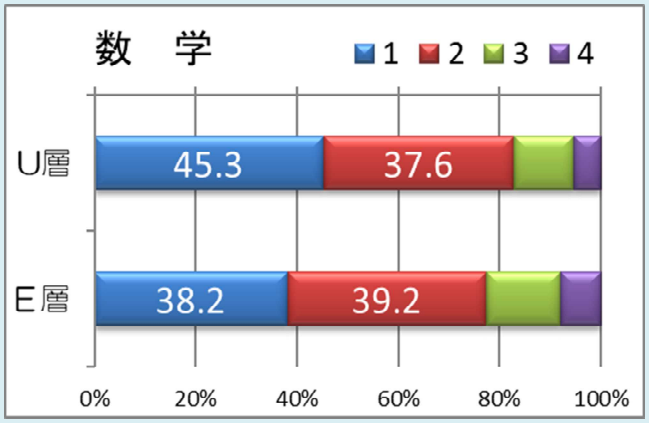
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

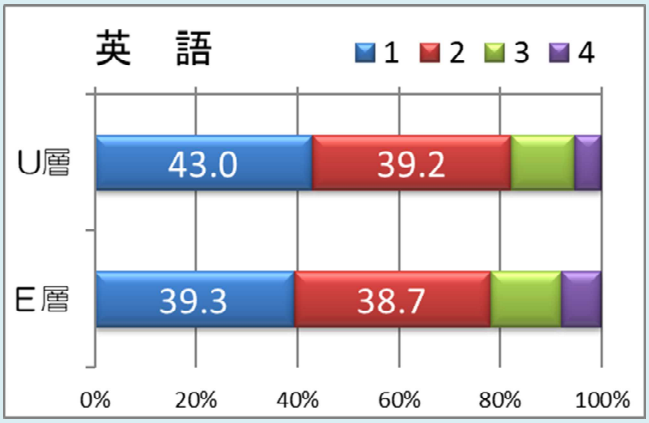
正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

１２　学校に行くのは楽しいと思いますか

１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない







（３）「望ましい学習習慣づくり」について

①基本的生活習慣等

【質問番号】１～４（４問）

分析結果

○４質問項目中，「１　朝食を毎日食べていますか」と「３　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか」の２項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
○４質問項目中，「２　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか」などの全ての項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
○３年間の経年比較では，「３　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか」の１項目において，肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。
○「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」などの生徒は，教科に関する調査において，正答率が高い傾向にあります。
○本市では，基本的生活習慣等についての質問に，肯定的に回答した生徒の割合は，平成２９年度，平成３０年度とほぼ同様の傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○義務教育９年間を通して望ましい生活習慣づくりを推進する上で，同一中学校区内で，保護者や地域と連携した取組を進めるためには，学校全体，校種を通じた系統的・継続的な指導によって改善・充実を図っていくことが大切です。
○基本的生活習慣を身に付けさせるためには，「健康・生活チェックシート」を活用するなどして，「毎日，同じくらいの時刻に起きる・寝る」，「放課後や週末に何をして過ごすか」など児童自らがよりよい生活習慣を考えられるよう働きかけを工夫することが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

１　朝食を毎日食べていますか（92.9%）
３　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか（92.3%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

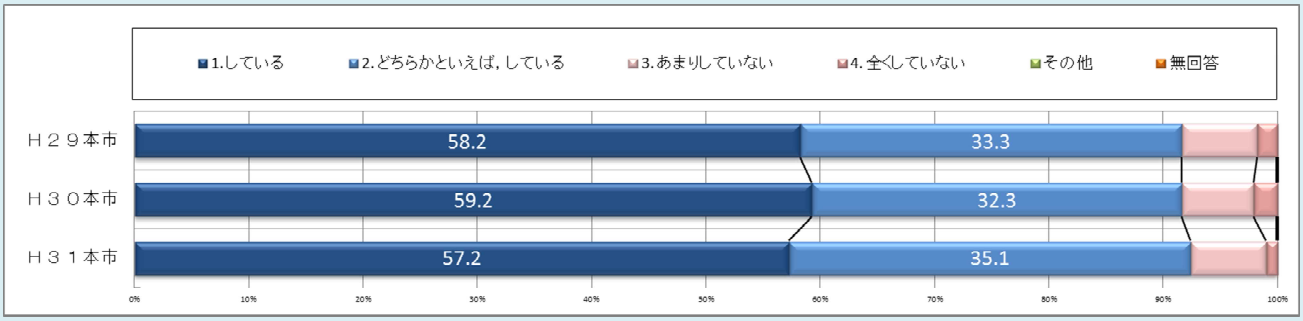
※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

１　朝食を毎日食べていますか（▲0.2）
２　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか（▲2.1）

３　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか（▲0.5）
４　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか（▲1.0）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

３　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか



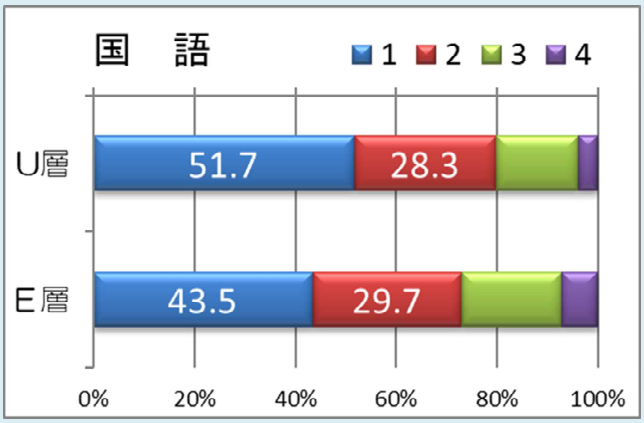
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

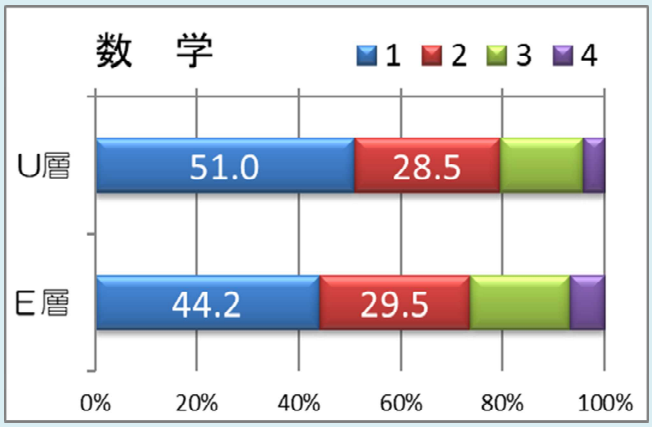
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

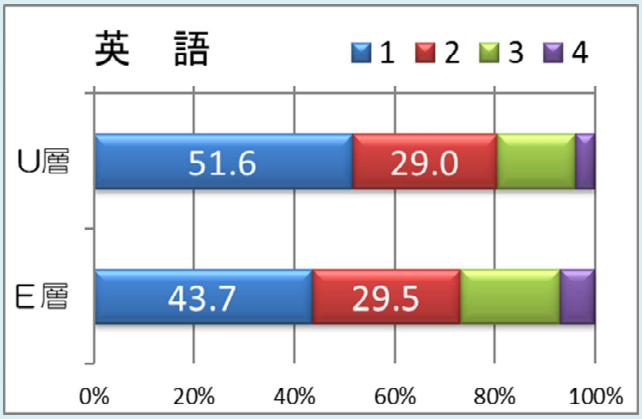
正答数が多い生徒（Ｕ層）とそれ以外の生徒（Ｅ層）とのクロス集計

４　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない







②学習習慣等

【質問番号】１７～２２（6問）

分析結果

○６質問項目中，肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。一方，「２０ 昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除きます。）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」などの４項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○６質問項目中，「２１　読書はすきですか」などの４項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「１８　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）」などの２項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，肯定的な回答が増加傾向にある項目はありませんでした。一方，「１７　家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」と「２２　新聞を読んでいますか」の２項目において，肯定的な回答が減少傾向を示しました。

○「家で，自分で計画を立てて勉強をしている」などの生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，学習習慣等についての質問において，肯定的に回答した生徒の割合が低い傾向が見られ，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○確かな学力を育成するためには，家庭においても，見通しを持って計画的に学習に取り組ませることが大切です。

本改善策については，Ｐ１２
「見通しを持って計画的に学習に取り組ませる指導」へ

○家庭での学習習慣を定着させるためには，オンラインサービスを活用した家庭学習等に取り組ませることが大切です。

本改善策については，Ｐ１４
「家庭との連携によるオンラインサービスを活用した家庭学習」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

１７　家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（48.7%）

１９　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）（27.5%）

※この質問項目については，１日３０分以上の割合を肯定的な回答としました。

２０　昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除きます。）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか（9.9%）

※この質問項目については，週１回以上の割合を肯定的な回答としました。

２２　新聞を読んでいますか（13.1%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

１９　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）（0.5）

※この質問項目については，１日３０分以上の割合を全国の数値と比較しました。

２０　昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除きます。）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか（1.6）

※この質問項目については，週１回以上の割合を全国の数値と比較しました。

２１　読書はすきですか（4.9）

２２　新聞を読んでいますか（0.4）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

１７　家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（▲1.7）

１８　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）（▲9.1）

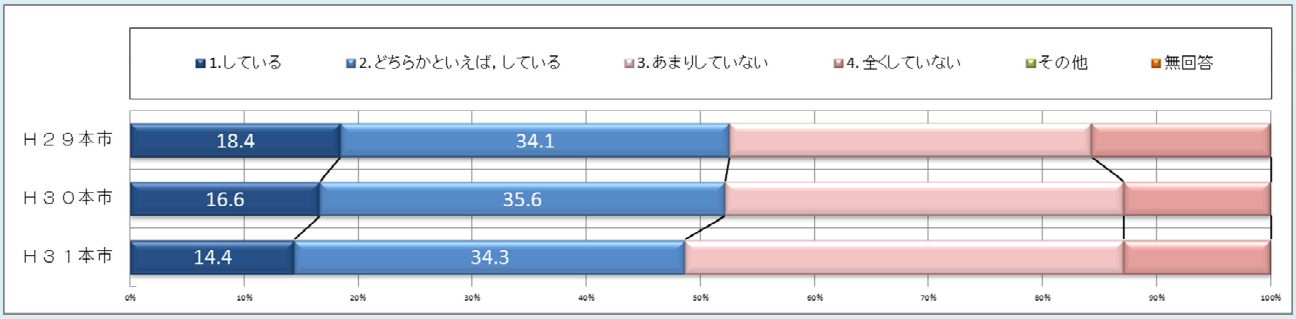
※この質問項目については，１日１時間以上の割合を全国の数値と比較しました。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

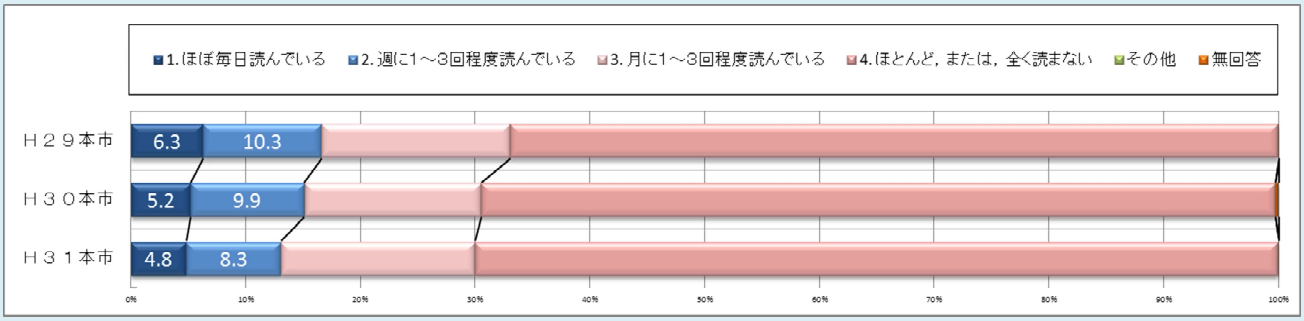
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

１７　家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

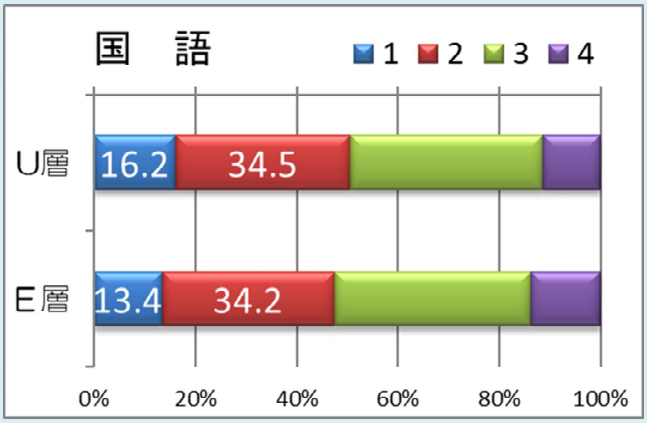
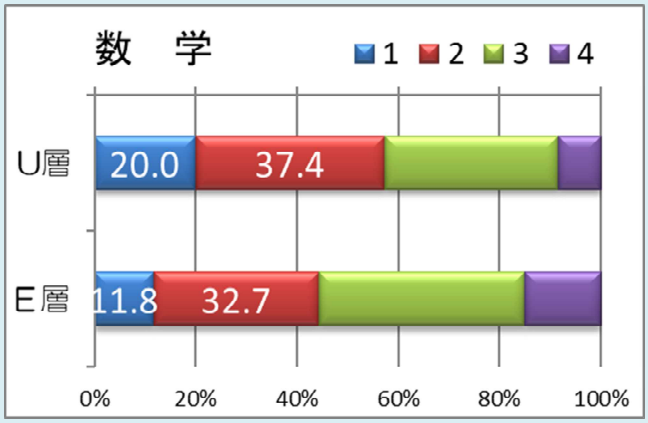
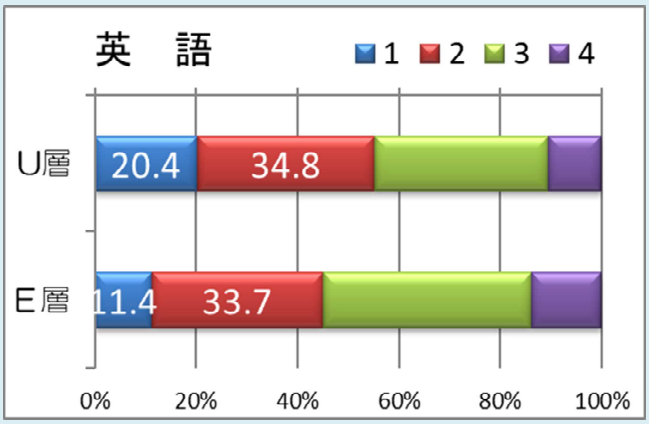


肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

２２　新聞を読んでいますか



正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

１７　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか

１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない